

会長のページ 医師の働き方について	河野 雅行	3
日州医談 これからの小児医療を考える	高村 一志	4
はまゆう随筆(その1)		6
北折健次郎, 谷口 二郎, 脇坂信一郎, 山口 和正, 田畑 直人 平部 久彬, 野田 俊一, 石坂裕司郎, 宝珠山 弘, 森 憲正		
エコー・リレー(503)	鶴田 和仁, 熊原恵一郎	14
国公立病院だより(小林市立病院)	徳田 浩喜	20
メディアの目 宮崎県民歌を歌おう	長田 泰弘	23
宮崎大学医学部だより(感覚運動医学講座眼科学分野)	川原 亮輝	24
部会だより(労災部会)	田中 俊正	25
ニューメンバー	木村 頼雄	49
診療メモ 胆膵疾患に対する 超音波内視鏡診断・治療：現状と新展開	河上 洋	76

あなたできますか？(平成28年度医師国家試験問題より)	15
宮崎県感染症発生動向	16
各郡市医師会だより	18
平成29年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	26
九州医師会連合会第363回常任委員会	29
日医インターネットニュースから	30
理 事 会 日 誌	32
県 医 の 動 き	37
追悼のことば	38
ベストセラー	41
会員の異動・変更報告	42
ドクターバンク情報	51
行 事 予 定	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
宮大医学部学生のページ	78
あ と が き	82

~~~~~

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| お知らせ クールビズについて .....                 | 13 |
| 第18回宮崎県医師会医家芸術展 .....                | 22 |
| 平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い ..... | 41 |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ .....            | 49 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター .....              | 50 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています .....         | 55 |
| 宮崎県医師会医療情報コーナー .....                 | 79 |
| 郡市医師会への送付文書 .....                    | 80 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

津久見島

とんがり山を見れば気が引き立つ。  
津久見島(臼杵)の月の満ちた山肌に後光が差しているようだ。月明かりの中、山頂を目ざすのに気がひかれる。

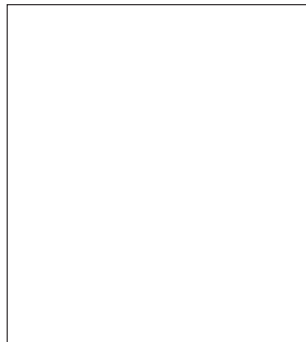
いずれの山でも海から眺めると一興だ。とは言え、にっぽん丸で鳥島、硫黄島、サイパン島を巡った時の気持ちはどうだった。

“島山”の御霊に何度も手を合わせてきた。

延岡市 なが 長 ぬま 沼 こうざぶろう 弘三郎

## 会長のページ

## 医師の働き方について

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

過剰労働による様々なひずみが社会問題として取り上げられるようになりました。過労死、過労による疾病等々、連日ニュースとなっています。問題を重視して国は新たな法的規制を掛けようとしています。それらを踏まえて、医療界にも労働時間見直しの動きが出てきています。確かに、医師の労働時間・拘束時間は社会通念からすると常軌を逸しています。他の職業に比べて医師の寿命は短い、特に産科医師は短命であると言われてきました。以前から何らかの対策が必要であると問題提起されていましたが、刻々と容体が変化する患者さんを目の前にして医師が現場から離れることはできませんし、加えて医

師には応召義務が課せられています。医師は簡単に現場から離れられない仕組みになっており、なかなか労働時間の改善がなされないままで過ごされてきました。

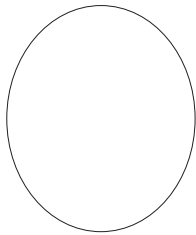
もし、法的規制がされ時間内のみの診療になれば、地域医療は直ちに崩壊してしまうでしょう。言い換えれば我が国の地域医療は、医師の奉仕精神で支えられている部分があまりにも多いとも言えます。現場の状況を斟酌せずに一方的な面からの規制を設けることは根本的な解決にはなりませんし、混乱を惹起するのみです。とは言っても何もしない訳には済まない状況になっています。日医でもこの問題を重視して、勤務医の過重労働問題について検討を行い、勤務医の健康を守るためのリーフレット作成や医療機関への提言などを行ってきました。更に今年の5月、地域医療に混乱を生じさせることなく、質の高い医療提供体制の維持と医師自身の健康確保を両立するような制度を検討することを目的として、「医師の働き方検討委員会」を設置しています。健康や社会的な観点からも、一般労働者の待遇改善と同様に医師の主として労働時間の待遇改善も待ち望まれるところです。

但し、これらは主として勤務医についての労働条件改善ですが、勤務医だけでなく昼夜分かたず診療している開業医の先生方も多くおられます。ボランティア精神で支えられている地域医療までも法律で規制できるのでしょうか。応召義務との整合性は如何なるのでしょうか？ もし、開業医まで含めた医療全般に規制を設けるとしたら、地域医療の維持は医師、看護師が今の倍数いても難しいことになり、全国で時間的な無医地区が多発することになります。

その他、医師には常にスキルアップのための研鑽が必要です。スキルアップのための学会参加や研究・学習も就業の一部ととらえれば、如何なることになるのでしょうか。現時点では医師の就業時間を一般業と同じように一律に制限するのは不可能であり、地域医療に混乱を来さないような緩やかな解決策が望まれます。そのためには、医療に対する国民の意識改革も必要となるでしょう。国や日医の対応を注意深く見守りたいと思います。

(平成29年 6 月22日)

## 日州医談



## これからの小児医療を考える

たか むら かず し  
常任理事 高 村 一 志

6月3日付けの新聞で「出生数初の100万人割れ」の見出しが一面にでました。医業の問題として、少子高齢化が進む今、一番先に影響が出るのは産婦人科でしょうが、その次に顕在化するのはい小児科です。確かに私が開業して18年が過ぎましたが、開業して数年後には一日当たり今よりも多くの患者さんを診ていました。宮崎県の出生数は私が開業した1998年の11,335名から2015年には9,226名まで減少しています。率にして81%まで減少しており、更に減少は続くと推定されます。宮崎市でも2001年には4,034名の出生数でしたが、2015年には3,589名まで減少しています。2016年の合計特殊出生率については宮崎県は1.72(全国3位)であり前年と比較して上昇していますが、出産可能な女性の人口が減少するために出生数の増加は今後も期待できないようです。県内でも小児科医の少ない地域では毎日忙しく診療されていると思われますが、宮崎市など小児科医が集中している地域では、以前ほどの喧騒感は感じなくなっているのではないのでしょうか。そのような中で小児科医は何に希望を持ちながら医療を続けなければならないのでしょうか。

一般外来患者減少の一因として予防接種の普及が考えられます。たしかに水痘、おたふくかぜを診る機会は最近少なくなっています。二昔前まで時々みられた麻疹、風しんは全くみられなくなりました。又、細菌性髄膜炎などの重症感染症やロタウイルスにより重症化する患児

はほとんど診ることはなくなりました。このことは小児科医にとっては喜ばしいことです。それでは患者数の減少は悪いことばかりなのでしょう。私自身は一人の患者に割く時間が増えたことでお母さん方にしっかり説明でき、納得して帰宅してもらえることが増えた気がします。母親の不安に傾聴できる時間も増えたことで、以前よりも信頼関係がしっかりできているのではと考えています。私が日本小児科医会が認定する「子どもの心相談医」でもあるためか、発達障害の相談、不登校の相談なども増えてきました。一人にかかる時間は30分になることは多々あるのですが、帰るときの本人と母親の安心した顔つきをみるたびに少しの満足感を味わっています(小児特定カウンセリング料は月の1回目500点、月の2回目400点(月2回まで)ですので、もう少し上げてもらいたいのですが)。

子どもの数が減少していく中でもう一つ考えておかなければならないのは診療単価の増額です。厚労省は社会保障費の削減を行っている中で昨年度から小児かかりつけ診療料を新たに設けました。小児科外来診療料と比較して30点の増加です。更に、三歳未満が対象であった小児科外来診療料と比較して未就学児まで対象を広げることができます。

しかし算定要件として

①小児科外来診療料を既に算定している医療機関であること

②24時間電話対応をすること（＃8000で対応可？）

③一人の患者につき1か所の医療機関が算定すること

があり、患者さんの囲い込み、時間外まで拘束されるなどの批判があり算定している医療機関は全国でも2017年1月時点で約900施設しかありません。宮崎県は10施設でした。来年度の見直しで算定しやすい条件となれば良いのですが。

乳幼児の予防接種の種類がこの10年間で飛躍的に増加しました。しかし、世界的に見れば日本の予防接種はようやく先進国に追いついたと言えるべきでしょう。予防接種による収入が増えたことは確かです。当院でも予防接種による収入が全収入の約半分にまでなっています。しかし今後は三種混合ワクチンにポリオが加わり四種混合ワクチンとなったように、麻しん・風しん混合ワクチンにおたふくかぜが追加されMMRワクチンとなるなど今後はいくつかのワクチンの混合が進み、ワクチンの種類は減少していくものと思われます。そうなれば再び予防接種による収入は減少していく可能性があります。県広域の予防接種料金は高めの設定となっているため（私はリーズナブルと思っていますが）、市町村から減額を要求されていますが何とか踏みとどまっています。宮崎市郡では前宮崎市保健福祉部長の理解により同時接種料が毎年少しずつ増えてきています。予防接種料は各市町村との折衝になりますが、将来を見据えた料金設定をお願いしたいものです。

乳幼児健診は小児科医のアイデンティティーの一つであると思います。宮崎市郡の場合1歳

健診を含め1歳まで3回の乳児健診が個別健診で行われ、1歳半、3歳半健診は集団で行われています。1歳半、3歳半健診は宮崎市乳幼児健診検討委員会での議論も活発となり、発達障害の早期発見などを中心に充実してきた感がありますが、1歳までの健診に関しては先生個人のやり方で行われているために個人差があるように思われます。発育、発達のチェックに加え母親の育児不安、予防接種、経済的な背景、家族の喫煙歴、母親の風疹抗体を含めた両親の麻しん・風しんワクチン接種歴、育児の場での電子媒体の制限、急な発熱時などの時間外受診の適正化などなど話しておかなければならないことはたくさんあります。自分への反省も含めて、私たちが行わなければならないことだと思います。乳児の1か月健診については今後の課題です。成育基本法の制定は私たちの祈願ですが、そこで謳ってある胎児から成人までの切れ目のない支援を考えた時に、産婦人科と小児科の狭間であるこの健診を産科と協働で何とか実現したいと考えています。他科との協働の一つとして、今後増えてくる内科総合医との棲み分けも今後は考えなければならないことの一つだろうと考えています。

最後に、疲れているときに健診を行うと不思議なことに元気が出ることがあります。私たちは子どもたちに元気をもらっているのでしょうか。奄美大島のある地区は今でも特殊出生率が2を越えています。そこでは「子どもは宝」といわれ子どもだけでなく老人も元気な地区です。子どもが元気であれば地域は活性化されます。私たち小児科医は元気な地域を作るために子どもの代弁者であり続けたいものです。



(その1)

(7, 8月号に分けて掲載いたします)

## 偶然と必然

宮崎市 宮崎県  
赤十字血液センター 北 折 健次郎

4月から単身赴任で宮崎に来ました。どうぞよろしくお願いいたします。

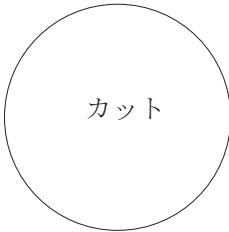
私の人生の中で、宮崎で生活するとは想定していませんでしたが、とても感慨深いものがあります。実はこの宮崎の地は、私の義母の実家のあるところなんです。もちろん異動の希望を出した訳ではありませんが、「偶然」この宮崎の地が選ばれたこと、何かの導きではないかと感じています。

というのは、以前から不思議な縁というのを、日々感じています。一番鳥肌が立ったことは、一時期、まったく別の関係で知り合ったお坊さんたちが「たまたま」全て真言宗の僧侶でした。その影響で一度高野山に行ってみたく思うようになり訪れたのですが、寄り道していて時間がなくなってしまったので、「適当」に近場のお寺に入りお参りだけして帰ってきました。何日か経って「たまたま」父との話しの中で高野山に行った話をしたところ、なんと私が「偶然」入ったその寺に、祖父の代まで分骨納骨されているとのこと(私の家は曹洞宗です)。分骨されていることは、初めて聞きました。

それ以外も小さいことを挙げればきりがありませんが、今回の異動で一番喜んでいるのは、

義理の母ではないでしょうか。交通事故により体が不自由で要介護認定を受けているため、10年以上実家に帰ることが出来ていません(その間に宮崎にいる親兄弟は次々と他界しました)。それなりの年齢なので、「死ぬまでに一度は宮崎に帰って墓参りがしたい」というのが口癖です。それが今年には叶いそうです。義母も、これを機会にもう少し動けるようにと日々頑張ってリハビリを行っています。

普段何気なく生活していると、身の周りに起こる出来事が、「偶然」であったり、「たまたま」であったり、「適当」に物事をやり過ごしているかも知れませんが、全てのことは何らかの意味を持って起こっているということを感じ、起こった出来事、一つ一つの意味を噛み締め、自分への気づきにしていきたいと思います。



カット

## 父を超える

宮崎市 たにぐちレディース クリニック たにぐち じ ろう 郎

父は私と同じ産婦人科医。昭和17年、宮崎市の上野町で「谷口産婦人科病院」を開業した。その後28年間、昭和45年に亡くなるまで診療していた。父は大学を優秀な成績で卒業し、その後結婚し8人の子どもをもうけた。何度も留年しそうになり、ようやく卒業した私とは雲泥の差である。私も子どもを5人もうけた。だが父は8人。3人負けている。不器用な私と比べ、手先が器用で手術も上手く、県内外から患者さんが来ていた。特に経膈の不妊手術は一万例にも及んだという。しかも20分位で手術は終了するなんて、手先の不器用な私にはとても信じられない速さだ。そんな父なので、何一つ父を超えるものはなかった。

しかし、ようやく一つだけ超えることが出来た。それは寿命である。父は昭和45年5月17日に67歳で亡くなった。10月20日が誕生日なので、67年と209日生きていたことになる。私の誕生日は昭和24年10月26日。日にちで言うと6日違いである。それから計算すると5月23日で父と同じ寿命になったということになる。つまり今年の5月24日は父より1日長生きした記念日ということになる。

そんなことを記念日にするなんておかしいと思う人もいるかもしれない。しかし男性だったら父の亡くなった年齢を、女性だったら母の亡くなった年齢を意識するものだ。何とか親の年齢より長生きしたいと思うのは当然のことだろう。

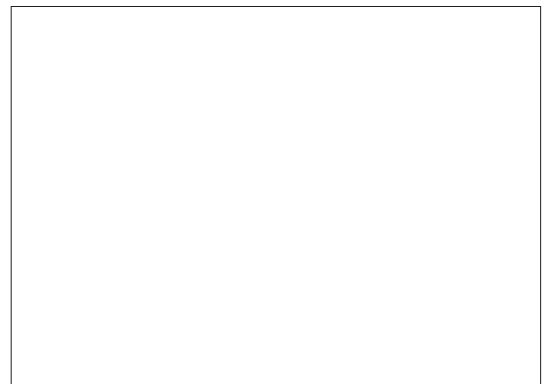
昭和45年当時の平均寿命は69歳位だった。だ

から亡くなった年齢としては平均に近かった。今に換算すれば80歳位の年齢になるのだろうか。

自分の人生と父の人生は似ているところが沢山ある。医師であること。産婦人科医であること。開業したこと。子沢山だったこと。だが違うところもある。父はお酒が殆ど飲めなかった。タバコが大好きで1日40～50本吸っていた。又趣味がこれといってなかったことなどだ。

一方母は94歳で亡くなった。6人いる姉達はその年齢を超えるのは至難の業だろう。長姉、次姉は80歳を過ぎて次々と亡くなった。三番目の姉は今80歳、母が亡くなった年齢までまだ14年もある。これを超えるのは大変なことだ。

先日、お墓に行き、感謝の気持ちと父の年齢を超えたことを墓前に報告した。きっと父も喜んでくれているに違いない。



## 生かされ、活かされている

宮崎市 潤和会記念病院 <sup>わき</sup>脇 <sup>さか</sup>坂 <sup>しんいちろう</sup>信一郎

このところ毎年のように同級生(小・中・高・大)の訃報に接し、同窓会の写真からお馴染みの顔ぶれが消えてしまっている。去年は県医師会から喜寿のお祝いをさせていただいたが、若い頃には遙か彼方にあると感じていた年齢であり、自分ではまだまだ若いと思いながら、いつの間にか後期高齢者となってしまった。

さすがに気力・体力の衰えは覆い隠せないが、週2回は勤務の帰りに近くのフィットネス・ジムに寄って筋トレと有酸素運動(エアロバイク)で汗をかき、その日は休肝日としてノンアルコールで乾いた喉を潤している。典型的なメタボで幾つかの持病も抱えているが、服薬により血圧や生化学検査値はなんとか基準値近くに抑えられており、消化管のポリープも内視鏡で切除してもらった。冠動脈に2個のステントが入り筋金入りの心臓となっているが、この10年近く全く虚血症状は自覚していない。

宮崎大学を定年退職した後も、県立日南病院、そして現在の潤和会記念病院、宮崎リハビリテーション学院に職を与えていただき、これまでと同じ常勤のリズムのまま働く場を与えていただいたことは本当に有難く思っている。恐らくこれがなかったら認知機能はかなり低下したであろう。もう既にメスを握れなくなって久しいが、やはり臨床家としては患者さんに接するのが何よりも楽しく、外来診療では充実感を覚えている。

もういつお迎えが来てもおかしくない年齢ではあるが、多くの方々の支えによって生かされ

ており、少しでも「何か世のため人のため」と与えられた命を活用できる場も与えられている。本当に感謝である。

## 重心今昔

日南市 愛泉会日南病院 <sup>やま</sup>山 <sup>ぐち</sup>口 <sup>かず</sup>和 <sup>まさ</sup>正

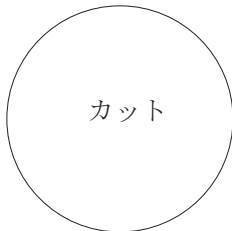
研修医の頃、バイトで重心施設の当直に当たった。初めて足を踏み入れた施設は異次元の世界だった。排泄物と涎、食べ物等の入り混じった独特の臭気。顔は天井、下半身は捻じれて床を向き、まるで重力に打ちひしがれた(後に従重力姿勢という言葉で知るところとなるが)ように、床にへばりつき蠢く入所者たち。人間の体はここまで変形するかと愕然とした。

それから数十年、何度か出入りする機会があった。ある時から臭気は激減し、寝たきりだったのが、いろんな椅子や装置も使って起きていくのが見えた。虚ろだった表情も全体にしっかりしてきたように思う。世間での、寝たきり老人問題から廃用性萎縮、ロコモへの流れと軌を一にしていた。

肢体不自由児施設を退職後、以前診ていた子供達が多く入所する重心施設に勤務することになった。彼らもう2～30代の大人だが、40年以上施設暮らしの人も珍しくない。ケースカンファランスの時、母が「この子が生まれ、脳に障害があると分かった時、治らないんですか？」と聞いたら、『バカにつける薬はない』みたいなことを言われました」と、50年以上前の話を昨日のここのように語る。又ある親は「前の施設ではバカと言ったり唾を吐きつけたりとか、嫌

な事ばかり覚えてたけど、ここに来てから『お母さん』とか、『うれしい』とか、良い言葉を喋るようになりました」と話された。先人の、まだ生きている歴史の物語である。

昨年の日本リハビリテーション医学会での話：リハの重心center of gravityは「障害」より「活動」へ。障害はひとり個人に帰するものではなく、人と社会・環境との間の齟齬によって生じる云々。「人の心は何処(いずこ)にありや?」、「人と人との間にあり。よって心あるもの人間なり」とかの禅問答を思い出した。繋がりがあってこそ人間。今なら言えるかもしれない、「治らないかもしれないけど、お母さん、一緒に生きていくことは可能だよ」と。



## 院長が何を考えているかわかりません

宮崎県 宮崎医療センター 病院      たばな      直人

ということで、院内のネットワーク「あおぞら」に院長室を作ってもらい、「ますますわからないんですけど…」と言われながらも時折に雑

感を書いてきました。うち、2話ほど。

### ①「今、ここを懸命に」

最近のスポーツ界は根拠がないことはやらないようですが、巨人の星やタイガーマスクで育った世代は「過酷な環境ほど肉体と精神は鍛えられる」という頑なな信念の下、時として非理論的な暴挙に出ます。

「パパはアホなのではないか?」という視線を背に、気温37度の外へ飛び出しました。県立劇場周辺をトラの穴と定めて、10kmを目標にランニングです。走っている人は皆無で、かつてアタックナンバー1に熱狂したであろうご婦人がお一人、苦渋の表情を浮かべながらウォーキングをしていました。

ジリジリと陽射しが心身を焼き尽くし、文字通り“炎のランナー”と化す中、イヤホンから流れる山崎ハコにもエネルギーを吸い取られていきます。もう止まろうよという囁きと闘い、「右足前、左足頑張れ」と励ましながら息も絶え絶えに完走しました。

当たり前のことながら、ゴールというのは突然目の前に現れるものではなく、一步一步、一瞬一瞬の積み重ねの先にあるものだというのを“飛・び・ま・す”を聴きながら実感する伊達直人、もとい田畑直人でありました。

“今、ここを懸命に生きる、そういう人間にしか希望の明るい未来は来ない”

行徳 哲男

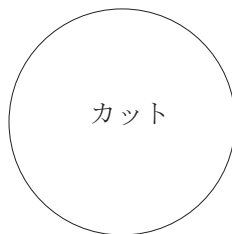
### ②「思い出してあげてください」

父は薩摩半島突端の小さな小学校の教員をしていました。昭和52年の師走に、教壇で腰を打ったことが原因で急逝しました。50歳と

いう若さでした。

この時の担任だった子供たち21人が、50歳を迎えた節目にということで坊津の父の墓参りに来てくれたそうです。1時間半もマイクロバスに揺られ、墓前に参って家族でさえ忘れそうになる40年前の父を偲び、母を囲んで思い出を語りあってくれたとのこと。母の電話を聞きながら、こんなにも心豊かな人たちの成長に関わっていた父の偉大さをあらためて想うことでした。

“人は二度死にます。一度目は肉体の死、二度目は人々の記憶から消え去る時です。思い出してあげて下さい” あるお坊さん



## 故 外山 方圀先生のこと

宮崎市 平部整形外科医院 ひらべひさよし 彬

私が外山先生に最初にお会いしたのは、私が中敷など作り、下肢の静脈血流を歩行時に増加させることはできないか、いろいろ検討している時であった。アスリートで記録向上に繋がらないかとも思った。先生が宮崎産業経営大学に

御勤務でしたので、電話差し上げ伺った。内容をお話したところ、学生さんと相談されるようだった。後日、連絡で学生アスリートに来院してもらうことになった。実験し、中敷も学生さんに試用していただいた。先生に途中で連絡差し上げることもあったが十分には説明申し上げていないと思う。特に最後の実験についてはもう少し検討すべきだったのではと思っている。まとめられなかったことに悔いが残る。先生には来院していただいたこともあったが、何も小林高校についてはお話にならなかったと思います。谷口博美選手についてもお話にならなかったと思います。私としてはそんな偉大な先生とは存じ申し上げずに、接していたのがただ残念でした。昔、宮崎が台風銀座、陸の孤島と言われていた時のことを思い出すと、全国制覇を小林高校の生徒を率いて4度もされ、世界陸上の金メダリストも育て上げられ、宮崎の名を全国に知らしめられました。先生が学ばれた大宮高校の同窓生の方にお聞きしたところ、皆が喜ぶそういう感じだったとのこと。私も、新聞で小林高校のニュースを見た時、驚き、何も分からない私は、ただ小林高校には速い選手がいるのだなー、凄いなーくらいしか感じず、外山方圀先生のことは一顧だにしませんでした。天照大神様御生誕の地の日向、宮崎でありながら、なかなかこんな出来事はなかったと思います。本当に有難いことだと思いました。過日、同級生に新幹線について質問したことがありました。「どれ位たったら日豊本線に新幹線が走るのかなー」。「平部、東海道に4～5本新幹線が通ったらよ」。

本当に、外山方圀先生有難うございました。安らかに眠りください。

## 引退会見で思うこと

都城市 野田医院 野 <sup>の</sup> 田 <sup>だ</sup> 俊 <sup>しゅん</sup> 一 <sup>いち</sup>

最近、有名なスポーツ選手の引退会見が続きました。浅田真央さんと宮里藍さんです(引退したので、<さん>にしました)。どちらも超人気者です。また、いろいろな共通点もあります。浅田さんは、世界選手権に3度も優勝していますが、金メダルは取れませんでした(14歳の時に年齢制限がなく、トリノオリンピックに出ていれば金メダル確実でしたが?)。宮里さんは2010年には、アメリカツアーで5勝し、世界ランキングで男女を通じて、初めて日本人で1位になりましたが、メジャー大会(特に全米女子オープン)では未勝利でした。

二人とも、天才と言われながらも努力を続け国際舞台で活躍してきました。マスコミへの対応も抜群、当然好感度はあがり、CMに多数出演、スポンサー受けも抜群です。プロとアマの違いはありますが、彼女達が動く、多くの人とお金が動く構図ができあがっています。ここまで書きますと、真央ちゃんが金妍児(キムヨナ)みたいに、自分を批判した教授をすぐ名誉毀損で訴えたりするような性格が、ほんのちょっとあったり、藍ちゃんがタイガーウッズのように浮気や離婚騒動で騒がれるようなダークな部分が、ほんの少しでもあったら、もっとほしいタイトルが手に入ったかもしれないと思うのは私だけでしょうか?

二人の引退会見に涙しながらも、ほんの少し、そんなことを思いました。

## ハレとケ

宮崎市 四季クリニック 石 <sup>いし</sup> 坂 <sup>ざか</sup> 裕 <sup>ゆう</sup> 司 <sup>しろう</sup> 郎

私の出身地であるえびの市では病で倒れることを薩摩弁で「けなえる」と言っていた。「なえる」は萎えることであると思うのだが、「け」萎える」の「け」とは何だろうと昔から不思議に思っていた。

ところが、先日、何かの本を読んでいたら晴れ着、晴れ舞台等の「ハレ」の対義語は「ケ」であり、「ハレ」は非日常を表し、「ケ」は日常生活を表すと書かれていた。それを読んではっと気づいた。「けなえる」とは「ケ」である日常が萎える状態を表しているのではないかと。

古来、日本人は祭礼や年中行事などを行う日を「ハレ」と呼んでいた。ハレは漢字では「晴れ」を当てるが、本来の晴れは長雨が続いた後に天気が回復し、晴れ間が見られた日にのみ「晴れ」と記したようである。

一方の「ケ」は普段の生活である日常を表しており「褻」という漢字を当てるが、汚れた衣類という意味で普段着と同義語である。元々は日(ケ)の複数である日々が語源ともあった。

古代においては服装、建物、食事など生活全般にわたって「ハレ」と「ケ」は明確に区別されていた。毎日同じ事の繰り返しで「ケ」の生活が順調にいかなくなることがケガレ(ケが枯れている状態)で、祭などの「ハレ」の儀式で「ケ」を回復することを清める(ケを良める)という説もある。

しかし、「ハレ」と「ケ」は決して相反するものではなく、補完し合うものであって「ケ」の日常に「ハレ」を時々いれることで古来より我々日本

人は生きてきた。

翻って、医療において「ハレ」の医療とは非日常的医療、つまり大病院に入院し専門的治療を行うことであり、一方、「ケ」の医療とは日常生活に即した医療、つまり在宅医療のことではないかと思いを巡らした。

超高齢化社会を前に2025年問題におけるスローガン「時々ハレ、ほぼケ」は我々日本人には古来より合ったスタイルなのかもしれない。

ただ、残念ながらネット検索では“けなえる”が“褻褻える”であることを支持する資料は見当たらなかった。

## 夢多き人生

延岡市    ほうしやま    ほうしやま    ひろし  
            子どもクリニック    宝珠山    弘

孫が“父とおぢいちゃんの歩いた道を進むことにきまり決心しました。”と云ってきたのが最近のような気がする。“健康に気をつけて慈悲の心をもったドクターになってね”と話してから、もう3年間すぎた。月日は早いものである。

“降る雪や昭和も遠くなりにはけり”の感じしみである。孫君に「出発前に色紙に何か書いて来てね」とたのんだら「夢」と書いてくれた。「おぢいちゃん体に気を付けてね」と云った。自分のことのような気持になってジーンと来た。

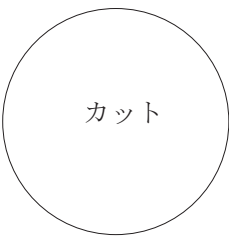
ところで人生とは又いかにあるべきか遠い時代より語られてきたが、一口や二口で表現出来ない。「人生不思議多し」「幸福とは何か」「夢多き人生」「人生は旅である」「苦しきことぞ多かり

き」「人生わずか50年」……色々とかたられている。私はささやかに「名もなく貧しく美しく」をモットーにしている。

時々思ふ時ありて夢で数学を解いたり、夢のつづきを見たりした青春時代を思い出すが、年を重ねると、悲しいものが多い。(白かカラーかわからないが)目がさめると忘れている。脳が見ているのだろう。“夢で会いましょう”とよく云ふが、なかなか会ってくれない。死んだら「無」となり、リンサンカルシウムのみか、あの世はあるのか、まさにこの世は夢ばかりだ。

一度しかない人生だ。あまりセンチメンタルになりすぎてもいけない。時にはチャンキおけさ人生でゆくのもよし。“グチはよそうぜ体にわるいしゃれた文句の泣き笑い人生”で楽しくゆくのもよし。せめて心がけを正しくもって生きてゆくことも大切だと思ふ。

さて、宝クジの当たった夢でも見ることにしよう、「それでいいのだ」。



カット

## 現代増減事情

宮崎市 <sup>もり</sup>森 <sup>のり</sup>憲 <sup>まさ</sup>正

野球のシーズンとなった。最良球団の勝敗に一喜一憂し、気が休まるのは月曜日だけである。「最高です」の絶叫だけのヒーローインタビューにはがっかりさせられる。喜びを表す心の籠った言葉はないものだろうか。言葉の貧困、貧弱という外ない。多くのスポーツ少年たちが見守っている。インタビューの受け方を身につけるのも名選手の条件であろう。

一方で若者俗語は実に豊富で、説明して貰わなくては超高齢者には理解し難いものが多い。やばい、まじす、うざい等は聞き飽きて、もう古い。しかし愛上男、草不可避、かまちよ、じばる、ばちる、ディスる等となると、手に負えない。何処まで崩れて、増えていくのかと気になる。

書く方の変化も著しい。電話やメールで要件を済ますようになって、手紙を書く機会が少なくなった。手紙文を勉強させられた頃が懐かしい。候文はもはや古典となり、メール、

Facebook、LINE等では若者俗語、絵文字やカタカナ交りが普通となった。

多くの要件をメールで簡単に済ますようになり、簡潔過ぎて軽視されるのか、大事な応答や返事が来ない場合も増えた。患者を紹介しても何の連絡もないことがある。特に専門外の患者の場合である。連絡手段が簡便になって、即答的返事が求められていることが、理解されていないようである。礼儀の欠如、常識或は教育の問題かも知れない。

固定電話や公衆電話の使用は激減し、携帯電話の時代である。嘗て携帯電話は富裕層しか持てなかったが、今は子供から老人まで持たされるようになった。校門を出て来る学生は歩き乍ら本を読んでいるのかと見ると、持っているのはスマホである。

医学生、研修医の必修項目が異常に増えた。学生が気の毒にも思われる。半面、医療以前の問題で事件を起こす医学生や研修医がいる。倫理、哲学の貧困である。必修事項が増えたために、倫理や哲学を学ぶ時間がないのか、教えていないのではないかと危惧される。

### お知らせ

## クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成29年5月1日より平成29年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

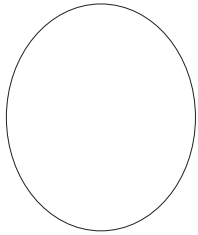
# エコー・リレー

(503回)

(南から北へ北から南へ)

## 路地歩き

宮崎市 潤和会記念病院 つる 鶴 た 田 かず ひと 仁

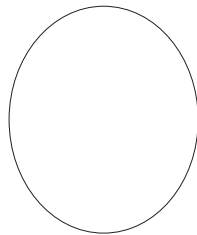


最近路地歩きにはまっている。きっかけは飼犬の散歩である。屋内で飼われている犬は朝夕の散歩が欠かせずこれは私の役目になっている。散歩道は自動車の通りが多い表通りを避け自然に路地を通る

ことが増えた。また、犬の散歩はゆっくり歩いたり立ち止まったりする。そのお陰で道端の景色が自ずと目に入って来る。特に路地に面した家には個性的なものが多く、手入れの行き届いた庭の前ではそれとなく立ち止まって観賞させてもらったりする。この際に効果的なのが「犬の散歩」である。ゆっくり歩いたり、立ち止まっても不審に思われることは少ない。路地には勝手に名前をつけてみる。「柵の小径」「金木犀通り」「山茶花の小道」など。最近はもう少し遠くの路地を歩きたくて犬の散歩が終わると一人でウォーキングに出かけるようになった。半径1kmくらいの範囲になると知らない路地がたくさんある。その日の気分で閑静な住宅地を歩いたり、繁華街の路地裏を歩いたりする。洗い張りの店があったり、麴屋、提灯屋なども目にするようになった。宮崎にもこんな店があったのだと思わず楽しくなる。少し奥まった路地には郊外の別荘を思わせるような佇まいの住宅を見つけたりもする。ウォーキングはどうしても夜間が多くなる。先日は「オニイサン、寄ってかない」と声をかけられた。この道は「やり手ババア通り」と命名した。新たな発見を求めてしばらくは路地歩きが続きそうである。

[次回は、延岡市の成田 理恵先生にお願いします]

## 豊かな土地

宮崎市 くまはら耳鼻咽喉科 くま はら けいいちろう  
クリニック 熊 原 恵一郎

今年5月に、北アルプスに位置する立山黒部アルペンルートに行ってみりました。もう10年ほど前になりますが、福岡空港から仙台空港への航空機内から見た残雪を被った北アルプスの雄大な眺

めが強く印象に残っており、それ以降現地に足を運びたいと願っておりました。

立山黒部アルペンルートは富山県立山駅と長野県扇沢駅を結ぶ日本を代表する山岳観光ルートです。今回私は長野県側から入りました。黒部ダムから大観峰、室堂と高度を上げ標高2400mの大量の雪に囲まれた温泉宿に宿泊しました。期待通りの壮大な北アルプスの山容に心踊らされ、水を湛えた黒部ダム、トンネルを通過するトロリーバスやケーブルカー、山をつなぐ長大なロープウェイといった巨大構造物にも感心しました。機会がありましたら今度は緑に覆われた夏の立山にもう一度行ってみたいものです。

アルペンルートはもちろん素晴らしいものでしたが、そこに至る長野県側のJR篠ノ井線やJR大糸線や富山県側の立山地方鉄道の車窓から見える田園風景も私の想像を超えた眺めでした。そこにはアルプスの恵みを受けて豊かに暮らす人々の姿がありました。

内陸部や日本海側の土地への私の勝手なイメージを覆してくれました。私の陳腐な語彙力では適切に表現することができませんが、そこはまさに「豊か」な土地でした。旅は単純にリフレッシュにもなりますが、その土地へ抱く固定観念を改めさせてくれます。

[次回は、宮崎市の川野 貴久先生にお願いします]



## あなたできますか？

－平成28年度 医師国家試験問題より－

(解答は81ページ)

- 1 両側乳房の疼痛を主訴とする乳腺疾患で最も頻度が高いのはどれか。
  - a 乳 癌
  - b 乳腺症
  - c 線維腺腫
  - d 葉状腫瘍
  - e 乳管内乳頭腫
- 2 ポリソムノグラフィに含まれないのはどれか。
  - a 脳 波
  - b 血 圧
  - c 筋電図
  - d 心電図
  - e SpO<sub>2</sub>
- 3 関節リウマチで関節炎がみられないのはどれか。
  - a 手関節
  - b 股関節
  - c 中足趾節関節
  - d 中手指節関節
  - e 遠位指節間関節
- 4 胎盤機能不全が原因の胎児発育不全で、最も早期から発育が抑制されるのはどれか。
  - a 頭 部
  - b 心 臓
  - c 肝 臓
  - d 副 腎
  - e 肺
- 5 せん妄のリスクファクターでないのはどれか。
  - a 肺 炎
  - b 喫 煙
  - c 低ナトリウム血症
  - d 尿道カテーテル留置
  - e ベンゾジアゼピン系睡眠導入薬
- 6 マラリアを診断するために用いる染色法はどれか。
  - a Gram染色
  - b Grocott染色
  - c May- Giemsa染色
  - d Papanicolaou染色
  - e Ziehl-Neelsen染色
- 7 母体における欠乏によって胎児に二分脊椎が発生しうるビタミンはどれか。
  - a ナイアシン
  - b ビタミンA
  - c ビタミンB<sub>1</sub>
  - d ビタミンK
  - e 葉 酸
- 8 胸腔ドレナージが行われるのはどれか。3つ選べ。
  - a 膿 胸
  - b 血 胸
  - c 肺気腫
  - d 乳び胸
  - e 心タンポナーデ
- 9 敗血症性ショックに対する循環器作用薬の第一選択となるのはどれか。
  - a アトロピン
  - b アドレナリン
  - c イソプロテレノール
  - d ドパミン
  - e ノルアドレナリン
- 10 Wernicke脳症でみられないのはどれか。
  - a 運動失調
  - b 記憶障害
  - c 腱反射亢進
  - d 見当識障害
  - e 眼球運動障害

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 5 月 ～

平成29年 5 月 1 日～平成29年 5 月28日(第18週～第21週)

## ■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：○結核 8 例(男性 4 例・女性 4 例)：保健所別報告数を【図 1】に示した。病型別報告数を【表 1】に示した。年齢別報告数を【表 2】に示した。
- 3 類：報告なし。
- 4 類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 3 例：延岡、日南、日向(各 1 例)保健所管内から報告があった。
- ・70歳代で、主な症状として発熱、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少がみられ、ダニの刺し口はあり、海外渡航歴はない。
  - ・70歳代で、主な症状として発熱、筋肉痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少がみられ、ダニの刺し口はなく、海外渡航歴もない。
  - ・90歳代で、主な症状として発熱、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少がみられ、ダニの刺し口はなく、海外渡航歴もない。
- 5 類：○ウイルス性肝炎 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代で女性、病型は B 型である。主な症状として全身倦怠感、黄疸がみられた。
- カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例：都城保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として尿路感染症がみられ、原因菌は E-coli である。
- 急性脳炎 1 例：日南保健所管内から報告があった。80歳代で病原体はインフルエンザウイルス B で、主な症状として発熱、嘔吐、項部硬直、痙攣、意識障害がみられた。
- クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)で診断の確実度はほぼ確実であった。主な症状として、進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態、痙攣性対麻痺、筋強剛がみられた。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状としてショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DICがみられた。血清群は A 群である。
- 後天性免疫不全症候群 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代男性で AIDS である。指標疾患はサイトメガロウイルス感染症、HIV 脳症で、主な症状として両側眼球の不随意運動、両上肢・左下肢の振戦様不随意運動、頸部・四肢への発赤丘疹・茶褐色斑状湿疹の多発、右鼠径部に 7～8 mm 大の無痛性リンパ節腫脹がみられた。
- 破傷風 1 例：都城保健所管内から報告があった。40歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、呼吸困難(痙攣性)がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明である。
- 麻疹 1 例：宮崎市保健所管内で報告された。20歳代で、検査診断例である。発熱、咳、結膜充血、発疹がみられた。海外渡航歴があり、ワクチン接種歴は 1 回である。病原体の遺伝子型は D8 である。

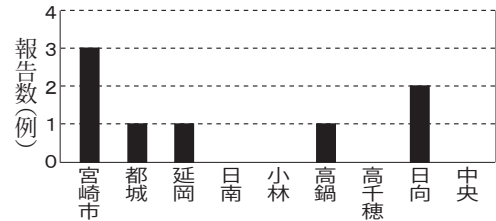


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

|           |   |
|-----------|---|
| 肺結核       | 2 |
| 無症状病原体保有者 | 4 |
| 疑似症患者     | 2 |

表 2 結核 年齢別報告数(例)

| 20歳代 | 40歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|------|------|------|------|------|
| 1    | 2    | 1    | 3    | 1    |

## 前月との比較

|                | 2017年 5 月 |          | 2017年 4 月 |          | 例年との比較 |
|----------------|-----------|----------|-----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)    | 定点当たり(人) | 報告数(人)    | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 254       | 4.3      | 1,630     | 27.6     |        |
| RSウイルス感染症      | 7         | 0.2      | 78        | 2.2      |        |
| 咽頭結膜熱          | 132       | 3.7      | 92        | 2.6      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 423       | 11.8     | 394       | 10.9     |        |
| 感染性胃腸炎         | 1,264     | 35.1     | 1,493     | 41.5     |        |
| 水痘             | 130       | 3.6      | 73        | 2.0      |        |
| 手足口病           | 447       | 12.4     | 322       | 8.9      | ★      |
| 伝染性紅斑          | 21        | 0.6      | 22        | 0.6      |        |
| 突発性発しん         | 127       | 3.5      | 121       | 3.4      |        |
| 百日咳            | 0         | 0.0      | 1         | 0.0      |        |
| ヘルパンギーナ        | 34        | 0.9      | 22        | 0.6      |        |
| 流行性耳下腺炎        | 33        | 0.9      | 34        | 0.9      |        |
| 急性出血性結膜炎       | 0         | 0.0      | 1         | 0.2      |        |
| 流行性角結膜炎        | 46        | 7.7      | 40        | 8.0      |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 1         | 0.1      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 3         | 0.4      | 0         | 0.0      |        |
| クラミジア肺炎        | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 25        | 3.6      | 52        | 7.4      | ★      |

★ 例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い

※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,946人(定点あたり88.7)で、前月の76%, 例年比で92%と減少した。

前月に比べ増加した主な疾患は水痘と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病と感染性胃腸炎(ロタウイルス)である。

手足口病の報告数は447人(12.4)で前月の約1.4倍、例年の約2.7倍である。中央(54.0), 都城(31.5), 高鍋(9.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の報告数は25人(3.6)で前月の約0.5倍、例年の約2.4倍である。延岡(10.0), 宮崎市(7.0), 日向(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約4割を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向

＜2017年 5 月＞

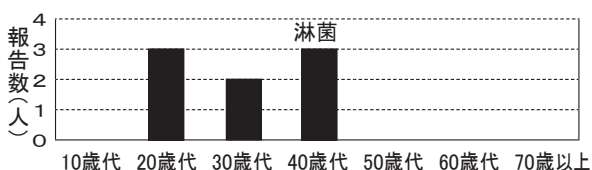
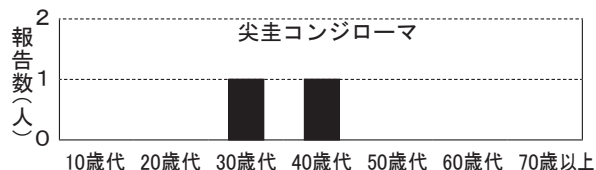
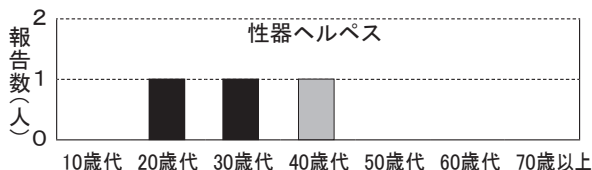
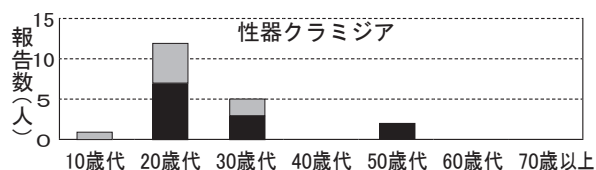
### □ 性感染症

#### 【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人(2.5)で、前月比138%と増加した。また、昨年5月(2.7)の94%である。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約1.3倍、昨年5月の約1.0倍である。20歳代が全体の6割を占めた(男性12人・女性8人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年5月の約0.8倍である(男性2人、女性1人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の1.0倍、昨年5月の0.4倍である(男性2人)。
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約2.7倍、昨年5月の1.6倍である(男性8人)。



■ 男    ■ 女

### □ 薬剤耐性菌

#### 【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比140%と増加した。また昨年5月(3.6)の約0.8倍である。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.3倍、昨年5月の0.8倍である。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、0～4歳である。(前月及び昨年5月報告なし。)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

## ■ 病原体検出情報(微生物部)

|                  | 検出病原体                             | 件  |
|------------------|-----------------------------------|----|
| ウ<br>イ<br>ル<br>ス | インフルエンザウイルスAH3                    | 12 |
|                  | インフルエンザウイルスAH1pdm                 | 2  |
|                  | インフルエンザウイルスB型(山形系統)               | 5  |
|                  | パラインフルエンザウイルス1型                   | 1  |
|                  | 麻疹ウイルス                            | 1  |
|                  | ヒトメタニューモウイルス                      | 1  |
|                  | ライノウイルス                           | 1  |
|                  | RSウイルス                            | 1  |
|                  | ロタウイルス                            | 1  |
|                  | アデノウイルス5型                         | 1  |
| 細<br>菌           | ヒトヘルペスウイルス6                       | 1  |
|                  | コクサッキーウイルスA6型                     | 4  |
|                  | 腸管出血性大腸菌(EHEC)(OUT:H21)           | 1  |
|                  | 腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:H28)           | 2  |
|                  | Salmonella spp. (OUT:Z4, Z23:-)   | 1  |
|                  | Salmonella Stanley (04:d:1,2)     | 3  |
|                  | Neisseria meningitidis血清群不明(髄膜炎菌) | 1  |
|                  | Bordetella parapertussis(パラ百日咳菌)  | 2  |

## 各都市医師会だより

### 南 那 珂 医 師 会

南那珂医師会には、二十日会という下部組織があります。以前はもっと多かったのですが、現在は会員数の減少もあり統合されて、日南市に4会(うち1会は休会中)、串間市に1会が活動中です。月1回の理事会の会議内容を地区担当理事が会員に伝達し、また会員の生の声を理事を通して理事会に伝えるという役目を担っています。理事会報告の後は宴席です。アルコールも入り楽しいひと時です。私の属する油津二十日会では、以前は二次会に突入することもありましたが、皆高齢となり翌日の仕事も考え8:30には散会です。私が幼少の頃から父がよくほろ酔い加減で帰ってきたのを覚えていますから、少なくとも50年ぐらいの歴史はありそうです。聞くところによると二十日会単位で「たのもし」をしてテレビを購入したり、家族、従業員、思えば卸が集合して小学校で運動会をした覚えが私にもあり、皆仲が良かったのだと思います。最近、理事会報告のレジメを会員個人に発送するようになり、二十日会自体の存在意義も薄れ、高齢化、価値観の違いもあり出席者も減ってきているようです。月に1回の顔合わせが必要かという問題はさておき、酒好きの私は毎回せつせと通っています。診診連携も大切ですが、6月の理事会の後に、医師会会員と県立日南病院勤務医との懇親会を会員の要望があり初めて企画しました。紹介状だけの関係だけではなく、顔を合わせ食事を共にすることにより病診連携がより前に進むことを期待しています。

(島田 雅弘)

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

厚生労働省が平成29年度から「産後ケア事業」実施自治体に対し、産婦健診費用の助成を行うことを決めたことに伴い、宮崎市では出産直後の心身が不安定な状況から産後うつへ移行する産婦を早期把握し、早期支援するため、エジンバラ産後うつ病質問票を中心にしたスクリーニングを行うこととして、産後2週間と1か月に健康診査助成券を発行しました。また、29年6月より新生児聴覚検査費用の一部助成も条件付きで開始しました。各市町村の足並みが揃うことを期待しております。

(神尊 敏彦)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

新病院移転から2年たち、会員の先生方のご協力のおかげで無事3年目を迎えることができました。昨年度を振り返りますと、4月の熊本地震ではDMAT2隊出動、その後JMATとして

参加。その他看護師、栄養士、薬剤師も派遣依頼があり現地で活動いたしました。

1年間のドクターカーの出動回数は357回、ドクターヘリとの協働事案は16件でした。

また、3月には災害用備蓄倉庫も完成し、圏域の医療の核として発展していくよう努めてまいりたいと思っております。

(濱田 圭一)

### 延 岡 市 医 師 会

延岡市医師会病院の組織改訂

本年3月まで院長として働いていただきました落合隆志先生の退職に伴い、延岡市医師会病院は組織改訂を行いました。延岡市医師会の吉田建世会長が院長に、病院担当理事の私・佐藤信博が管理統括部長に就任し、病院の各種委員会にも参加してさらなる活性化を図ることとしました。後田義彦副院長が病院管理者に、落合先生の後任として入られた大地哲史先生が地域医療連携室長・外科部長兼務の副院長に就任し

ました。皆様方のさらなるご協力・ご鞭撻をお願い申し上げます。  
(佐藤 信博)

## 日向市東臼杵郡医師会

去る6月10日(土)に平成29年度の定時総会を開催いたしました。

平成28年度の事業報告、決算承認、平成29年度の事業計画、収支予算の報告を行った後、役員選出に関する規程の一部改正案を上程いたしました。

当医師会の役員選出規程は平成3年10月15日に作成され、実態に沿うよう過去5回ほど規程の一部を改正してきました。

現規程は、どうしても同じ人が役員に選ばれる結果となること、また、医師会長が看護学校長を兼ねることになっているため、会長の負担が大きい等見直す必要がありました。改正案は、昨年10月の理事会及び選挙管理委員会で、慎重に審議し作成していただきましたので、会員の理解も得られ承認されました。来年の役員選挙からの適用となります。

役員の新旧交代が図られ、多くの会員に役員の経験をしていただくことで医師会活動がより一層活性化されることを願っています。

(渡邊 康久)

## 児 湯 医 師 会

児湯准看護学校は、本年3月53期の卒業生を送り出しました。児湯准看護学校は、日本で1番田舎で1番小さい准看護学校だと思います。しかし53期生は、全国の模擬試験ではトップクラスの優秀な成績を修めました。勿論宮崎県ではトップだと思っています。私達児湯医師会員は、極悪な環境の中、立派に巣立った准看護師に誇りを持っています。地方の田舎の医師会立の准看護学校も、地域医療の底辺を担っていることを行政も少しは理解して欲しいと思っています。  
(坂田 師隣)

## 西都市西児湯医師会

今年の1月に西都市長選挙があり、新しい市長が誕生しました。新しい市長は、今後の医療・介護にたいへん興味を持たれており、改革意欲があるのを医師会員一同、感じております。

ただ、残念なことに地方独立行政法人となった西都児湯医療センターの常勤医師が5人のうち4人が3月31日をもって退会してしまい医師会員数が41人から37人に減ってしまい寂しくなりました。今後どのように連携していくか会員一同、悩んでおります。また、災害への対応がいろいろ問題になっており、特に中心的医療機関である西都児湯医療センターと西都市役所の老朽化があります。この二つは、早急に建て直しが必要と考えられますが、いつ工事等が始まるのかはほとんど決まっておりません(指示・指令の中心になります西都市役所を先にやるべきと思っています)。

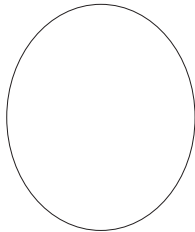
2025年に向けての地域医療構想の策定が平成25年より進められていますが、今後も行政、医師会、各医療機関としっかり連携しながら地域住民に対して安心できる医療体制を立ち上げていきたいと思っております。  
(鶴田 明土)

## 西 諸 医 師 会

開業するまでは、産業医の役割を漠然としか知りませんでしたが、産業医担当を拝命して思うことは、近年の産業医は労働者の身体面の健康管理をチェックするのみではないということです。平成27年12月に開始されたストレスチェックやメンタルヘルスケアにおける重要性が問われるようになり、悪性腫瘍や糖尿病等患者の治療と職業の両立を支える役割を担っているので、今後間違いなく産業医のニーズが増えると感じており、診療科に関係なくより多くの産業医が必要になると思います。(吉村 雄樹)

## 国公立病院だより

### 小林市立病院



とくだ こうき  
徳田 浩喜 院長

平成27年 4 月病院長を拝命しました。

私は平成 3 年鹿児島大学を卒業し、同年鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科学教室(旧第一外科)に入局し、平成14年に当院に派遣されました。歴代の病院長

である野本浩一先生、現在の病院事業管理者である坪内斉志先生の御指導のもとで、医師としてまた外科医としての修練を受けました。諸先輩方の後任として病院長を任せられ、身の引き締まる思いです。赴任後の大きな出来事は、新病院の完成、内科医の引き上げ、このたびの地域医療構想と考えます。

当院は、平成21年 9 月に現在の新病院へ引っ越ししました。免震構造地上 5 階建て延床面積は約11,600平米で、旧病院の1.5倍以上の広さとなりました。各部門は患者やスタッフの動線に配慮して配置され、64列マルチスライスCTや1.5テスラMRIなど最新鋭の医療機器を備え、また電子カルテやPACS等IT化も完了しました。外来は、大規模災害に備えて広いトリージング室としても使用できるよう待合室を整備し、またアメニティを向上させた外来化学療法室を 4 床設置し、外来化学療法件数は年々増加傾向で平成28年度は348件でした。2 階手術部は、1 室の無菌室を含む 3 室を配備し、さらに 1 室追加可能なスペースを確保してあります。病棟は22の 4 床室と59の個室からなり、4 床室では廊下側のベッドにも専用の窓を設け、さらにすべての病室に洗面スペースとトイレを、各病棟にはディラウンジと家族室および面談室を

それぞれ配置しました。3 階病棟にはシャワールームも備えた産科用個室を 4 部屋、4 階および 5 階にはそれぞれ特別室を 2 部屋、また 5 階には小児科用にプレイルームを設置しました。南側の各病室からは霧島連山が、北側の病室からは九州山地の山々が一望でき、さらには屋上の展望スペースからは360度のパノラマが満喫できる新病院舎が、平成21年 9 月に完成しました。

しかし新病院完成前後の平成21年年末から22年年始にかけて地域医療崩壊の大波が当院へも押し寄せました。4 名の内科医が、鹿児島大学旧第一内科の方針により平成22年 1 月までに 3 名が引き上げとなり、野本先生 1 名となりました。事実上内科入院治療は不可能となり、外来も大幅に縮小せざるを得なくなりました。鹿児島大学および宮崎大学等へ内科医師派遣のお願いに上がりましたが、各医局の医師不足はより深刻な状態で、早急な解決は糸口すら見えませんでした。一方医師数がさらに減少すれば病院存続も危うく、残された医師、その他のスタッフで対応し得る入院患者数を考慮し、移転 4 か月後の平成22年 1 月下旬に 3 階病棟を閉鎖し、感染病床 4 床を含めて98床での運営へ変更することとなりました。

この窮地に際して、当時病院長の坪内先生を

中心に当院の存在意義を問い、西諸医療圏におけるその役割を明確にすることから始まりました。当時の人口約8万人の当医療圏では当院は入院医療と二次救急に特化することが存在意義を示す残された役割であることを、周囲に理解を求めました。すると西諸医師会には即座に対応していただき、平成22年4月には西諸医師会夜間急病診療体制および休日小児科診療体制が整備されました。

一方行政もいち早く対策に乗り出し、平成21年12月には「地域医療対策室」を新設しました。また、医師会との連携を深めるために定期的な意見交換会を整備し、さらに住民の理解を求めため広報等で情報周知に努め、住民運動を積極的にバックアップした結果、「地域医療を考える会」が平成22年7月に発足しました。同会では、会員の定例会を開催して当地の医療が抱える問題を協議し、さらに各地開催の講演会等へ積極的に参加し認識を深め、地域への広報のためのパンフレットやDVD等を作製しました。また住民を交えた勉強会や、著名な講師を招いての講演会を開催し、一致団結しての協力を地域へ呼びかけてきました。さらには、当院の新任医師や院内研修に参加した各職種学生の歓迎会や、宮崎大学医学部学生との交流会も開催しました。このような西諸医師会、行政、住民のご理解とご協力で窮地を乗り越えることができ、さらに職員の心の支えになったことは間違いありません。

現在、当医療圏の人口は約7万5,000人と減少傾向です。今後の人口減少、高齢化率の増加においては、地域医療構想という医療改革の中で平成23年に地域医療支援病院として認可を受けた当院はその中心的医療機関としての役目を果たさなければなりません。

回復期医療においては、平成25年6月より回復期リハビリ病棟を開設、39床で運用していました。平成28年8月より10床の地域包括病床を導入し、平成29年7月に32床で病棟を開設し、それに伴い一般病棟80床、回復期リハビリ病棟23床と病棟再編成を行いました。地域包括ケアの整備の一環として、急性期病棟を堅持し在宅医療へのスムーズな移行のための所謂回復期機能拡充を目的とした病棟運用を目指しています。

一方、急性期医療、救急医療においては、現在の常勤医師は内科医1名、消化器外科・腫瘍外科医4名、整形外科医2名、泌尿器科医2名、麻酔科医1名の計10名であり外科系疾患の治療が中心となっており、平成28年度は消化器外科・腫瘍外科、整形外科そして泌尿器科の3科で手術件数は525件、救急車受け入れ台数は741件、時間外救急外来受診患者数は2,220名とこの数年著変なく推移しています。また平成25年3月にヘリポートが完成し、宮崎大学病院救命救急センターのご協力のもとでドクターヘリ搬送が開始され、当院そして当医療圏の医療機関からのヘリ搬送が平成28年度は17件であり、高次医療機関との連携も充実してきました。

今後は、急性期医療、救急医療を維持し、回復期医療では回復期リハビリ病棟、地域包括病棟の充実そして周囲医療機関、介護施設との連携をさらに密にし、介護を含めた在宅医療のニーズに対応しなければならないと考えています。しかし、医師を含め医療スタッフ不足の問題はいまだ解消できず、また早期に解決できる問題ではないと考えますが、前述した窮地に際して、ご理解とご協力していただいた西諸医師会、行政、住民の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、職員一同力をあわせて引き続き病院運営に努める所存です。

## お知らせ

## 第18回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展を宮崎県立美術館にて開催いたします。

昨年は1,169名の皆様にご来場いただき、毎回大変ご好評をいただいています。

今回は下記の日程で開催しますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月9日(水)から13日(日) 10時～18時(13日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー  
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：写真、書道、絵画

出 展 者：宮崎県医師会員・家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 医家芸術展事務局

TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550

## 写 真 部 門

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 井ノ口 信 子(宮崎市) | 井ノ口 晶 子(宮崎市) | 井ノ口 麻利子(宮崎市) |
| 木佐貫 冬 星(宮崎市) | 楠 元 正 輝(宮崎市) | 桑 原 淑 子(小林市) |
| 酒 井 和 彦(都城市) | 佐々木 究(宮崎市)   | 竹 尾 康 男(宮崎市) |
| 田 中 みどり(国富町) | 谷 口 二 郎(宮崎市) | 谷 口 美喜子(宮崎市) |
| 田 崎 高 伸(宮崎市) | 西 村 篤 乃(宮崎市) | 原 政 樹(国富町)   |
| 日 高 利 昭(延岡市) | 藤 浦 富 子(日南市) | 丸 田 茂 徳(都城市) |
| 康 田 明 照(日向市) | 山 路 健(都城市)   | 渡 邊 裕 之(日向市) |
| 渡 邊 命 平(日向市) | 渡 邊 美 子(日向市) |              |

## 書 道 部 門

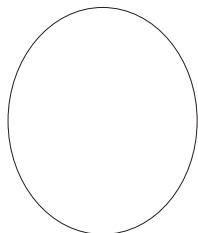
|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 大 迫 文 子(宮崎市) | 岡 村 公 子(延岡市) | 篠 原 由紀子(宮崎市) |
| 谷 脇 かおる(延岡市) | 田 畑 直 人(宮崎市) | 松 本 京 子(宮崎市) |
| 美 原 矩 子(宮崎市) | 山 内 励(宮崎市)   | 弓 削 和 子(宮崎市) |
| 弓 削 三重子(宮崎市) | 吉 山 登志子(都城市) |              |

## 絵 画 部 門

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 新 木 る り(日南市) | 安 藤 宣(西都市)   | 石 川 万佐子(宮崎市) |
| 内 田 攻(宮崎市)   | 大 塚 早 智(宮崎市) | 岡 本 栄 乃(宮崎市) |
| 押 川 千賀子(宮崎市) | 黒 川 基 樹(宮崎市) | 黒 木 昌 幸(都城市) |
| 酒 井 和 彦(都城市) | 酒 井 美絵子(都城市) | 瀬戸口 敏 明(都城市) |
| 竹 村 龍之助(宮崎市) | 谷 口 飛 鳥(宮崎市) | 谷 口 二 郎(宮崎市) |
| 谷 口 浩 子(都城市) | 中 島 知 徳(宮崎市) | 長 沼 恭 子(延岡市) |
| 長 沼 弘三郎(延岡市) | 淵 脇 和 男(都城市) | 吉 山 絢 子(都城市) |

(敬称略・各部門50音順・6月末日現在)

## メディアの目



## 宮崎県民歌を歌おう

読売新聞 宮崎支局長

なが た やす ひろ  
長 田 泰 弘

宮崎に赴任して1年になるが、つい最近、「宮崎県民歌」という県歌があることを知った。制定から半世紀の歴史があるという。しかし、県民がそろって歌っている場面をまだ見たことがない。せっかくの財産なのに、何とももったいない気がする。

この歌がJR宮崎駅で毎日、流されていることを支局の記者が取材し、読売新聞宮崎版で紹介した。「青い空 光ゆたかに陽に映えて——」。南国の風情をたっぷり盛り込んだ歌詞に、軽やかなメロディー。駅に足を運んで初めて聞いた歌は、「郷土に親しみ、楽しく歌えそうな曲」だった。

県歌「宮崎県民歌」は、明治初期に併合された鹿児島県からの分県80周年を祝い、1964年に制定された。国民体育大会(国体)など、県単位で参加する全国行事が盛んになった時代だ。制定には、「歌で県民の心を一つに」との願いが込められたに違いない。

私の古里の長野県にも県歌「信濃の国」がある。明治期に作られたが、県歌になったのは宮崎県と同じ頃。実はその約20年前、別に「長野県民歌」が公募で選ばれていたが、浸透はしなかった。そんな中、県内で1968年に行われた冬

季国体スキーの開会式で、「信濃の国」の大合唱が起き、「県歌に」との機運が一気に高まった歴史がある。

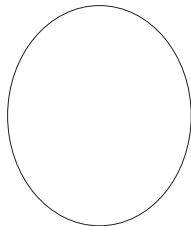
それ以来、地域や学校、競技会場など、あらゆる場で歌い継がれ、「信州人なら誰でも知っている」と言われるようになった。私自身も小中学生の頃、集会や行事の度に歌った。心の奥深くに刻まれた県歌には今でも愛着があり、思い出すと遠い古里も近くに感じる。

宮崎でも「県民歌」を浸透させるため、2014年の制定50周年に合わせ、県内の小中学校や市町村にCDを配ったという。宮崎市のKIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園には「県民歌ワシントンニアパーム並木通り」と名付けられた通りがある。行政関係者も認知度を高めようと、いろんな知恵を絞っているが、効果のほどはよく分からない。

そこで提案が一つ。「宮崎県民歌」を歌える機会をもっと増やしたらどうだろうか。地域で、学校で、競技会場で、どんな場面でもよい。県歌がもっともっと身近になれば、郷土に愛着がわく。「県民の心を一つに」との願いが込められた歌だからこそ、みんなで声をそろえて歌いたい。

## 宮崎大学医学部だより

### 感覚運動医学講座 —眼科学分野—



なおい のぶひさ  
直井 信久 教授

宮崎大学医学部眼科学では、直井信久教授が就任19年目を迎え、教授の指導のもと日々診療・研究に励んでおります。当科で扱う疾患としては眼疾患全てですが具体的には、加齢黄斑変

性症や糖尿病網膜症などの網膜・硝子体疾患、遺伝性網膜疾患を中心に、神経眼科、緑内障などの神経疾患や斜視弱視、涙道疾患など多岐にわたっており県内はもとより県外からもご紹介いただいております。

#### 〈診療体制〉

月曜・水曜・金曜日が手術日、火曜・木曜が外来日となっております。外来は完全予約制となっておりますが1日の患者数が150人を超え予約時間通りに診察できておらず患者さんの待ち時間が長くなっていることが課題となっております。月・水・金曜は基本的には手術日ですが、院内コンサルトや未熟児網膜症、echo外来といった特殊外来も行っております。毎週水曜日のecho外来は柊山剰先生に、毎週木曜日の角膜外来は高橋圭三先生、二見要介先生、森山重人先生、河野尚子先生に、毎月第4月曜日のぶどう膜炎外来は望月學先生にお越しいただいております。また、毎月第3木曜日のロービジョン外来は横上香子先生に行っております。

#### 〈関連病院〉

県立宮崎病院(荻野展永、森真喜子、松元寛樹)、県立日南病院(石合理崇、坂本夏子)、です。現在、県立延岡病院に眼科医を派遣できず県北の先生方には大変ご迷惑をおかけしておりこの場を借りてお詫び申し上げます。

#### 〈近況報告〉

最近の当医局の話題としましては2つの学会を主催したことでしょうか。1つは2016年11月に日本神経眼科学会総会、もう1つは2017年5月に九州眼科学会を行い、どちらも無事に終わることが出来ました。いずれの学会も学会業者に依頼することなく医局員のみで運営を行いました。また、スライドやPC受付や設営は宮崎大学工学部の方々にもご協力いただきました。また県内の各先生方には寄付金や差し入れ等、数多くのご支援を賜りこの場を借りてお礼申し上げます。誠に有難うございました。

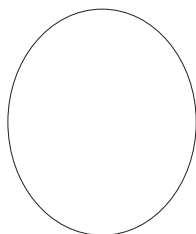
#### 〈最近のトピック〉

最近の眼科のトピックとしてはやはり加齢黄斑変性症(AMD)でしょうか。ここ数年の治療の進歩には目覚ましいものがあります。約10年程前までは、不治の病とされていましたが最近では抗血管内皮増殖因子抗体(抗VEGF抗体)の開発により、完治まではいかずとも視力維持が出来るようになってきています。2003年ベルテポルフィンを用いた光線力学療法(PDT)が開始され最初のAMD治療となりました。2007年オフラベルではありますが、抗VEGF抗体であるアバスタチンの硝子体内注射が開始されAMDに対する治療効果が飛躍的に向上しました。その後、AMD治療の中心は抗VEGF抗体となり続々と製品が作られるようになりました。2008年にマクジェン、2009年にルセンチス、2012年にアイリーアが認可されました。しかし、薬価が高いこと、複数回治療が必要なことなどまだまだ課題も山積しているのが現状です。またアバスタチンの硝子体内注射は未熟児網膜症(ROP)にも有効で、当院でも2008年11月より施行しており良好な成績を納めております。現在、ルセンチスによる治療を行っている段階で、今後ルセンチスの認可がおりROPへの適応拡大が期待されているところです。

これからも医局員一同力をあわせて邁進して参りますので今後共ご指導ご鞭撻の程よろしく  
お願い申し上げます。(医局長 かわはら 川原 あきてる 亮輝)

## 部会だより

## 労 災 部 会

たなか としまさ  
田中 俊正 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和39年5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉、労災補償の発展に寄与することを目的に事業活動を行っています。会員は、労働者災害補償保険法に基づく労災指

定医療機関の代表をもって、現在413の医療機関で構成されています。

労災診療は、公的医療保険に準じて医療を行っています。傷病労働者の早期社会復帰が目的ですので、療養給付で行われる診療等を基本として、広義には傷病労働者の労働能力を維持、回復するためのアフターケア、外科後処置も含まれています。

次に労災部会について、現況を紹介します。

## 1 労災部会の構成

## 1) 理事会

(部会長以下9名、監事2名、顧問3名)

## 2) 宮崎労災保険診療費審査委員会

(委員長以下11名)

## 3) 宮崎県医師会労災部会自賠委員会

(委員長以下12名)

## 2 平成29年度事業計画

## 1) 定期総会

## 2) 補習教育(研修会等)の開催

①医学会(県外科医会並びに県整形外科医会との合同学会)の開催

②労災診療費算定実務研修会(3地区)の開催

③労災関係保険審査委員会会議への参加

## 3) 労災診療指導委員会の開催

(毎月1回 年12回)

## 4) 理事会の開催(毎月1回 年12回)

## 5) 労災指定医療機関の指導・調査

## 6) 交通事故問題の検討

①自賠委員会(年2回)の開催

②損害保険医療協議会(年2回)の開催

③損害保険医療協議会小委員会(適時必要に応じて開催)

④自賠責保険研修会(医療機関実務担当者向け)の開催

本年の定期総会後に行われた県外科医会・県整形外科医会との合同学会では、「労災・自賠責保険制度の現状と課題について」と題して、公益社団法人日本医師会 副会長 松原謙二先生を招聘し、大変貴重なご講演をいただきました。労働者の高齢化等による超高齢社会に向けた労災保険指定医療機関の役割、アフターケア制度の目的、自賠責保険については、一昨年に全都道府県が新基準運用で足並みが揃ったことによる自賠責診療費算定基準の制度化へ向けての取組み、医業類似行為等による問題等を講演の中で取り上げられ、今後も更なる日本医師会のリーダーシップを期待させる講演内容でした。

労災診療は治療のみではなく、傷病期間の補償、症状固定・後遺障害の補償、障害年金等診療など、身障者介護分野まで様々な診断や認定等に関して、多くの分野での専門医のお力を必要としております。県医師会員の先生方には、日頃からのご協力に対しまして、この場をお借りして衷心より感謝申し上げます。

最後に当部会自賠委員会では、会員医療機関と患者さん、損保会社との交通事故診療における問題解決に引き続き取り組みますので、問題事案が生じた場合には、県医師会労災部会事務局までご連絡をお願いいたします。

また、労災指定医療機関で当部会に入会が未だお済みでないようでしたら、是非ご入会をお願いいたします。

今後も会員先生方と労災医療・交通事故診療に関する諸問題への迅速な解決を図って参りますので、よろしくお願いいたします。

## 平成29年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 平成29年 5 月10日(水)

ところ 日本医師会館

### 会長挨拶

日本医師会長 横倉 義武

「医師会の組織強化の重要性」について日本医師会会長に就任してから主張してきたが、臨床研修医の会費無料化等をはじめとする様々な取り組みが全国の医師会で共有され、昨年度は前年比で1,500人の会員が増加するなど、徐々に成果が表れてきた。

今期勤務医委員会の議論の中で、「勤務医の立場は様々であり、ひとくくりに勤務医を論じることにはできない」というご意見もあったが、様々な立場の違いを乗り越えて「医師」ということが基本にある。日本医師会の理念のもとに、多様な声をふまえた活動を推進できることが医師会の存在意義であり強みである。この強みをいっそう生かしていくためにも、一人でも多くの勤務医に医師会活動に参画いただき、共に歩みを進めていきたい。

また、日本医師会内にプロジェクト委員会として「医師の働き方検討委員会」を立ち上げた。質の高い医療提供体制維持と、医師自身の健康確保を両立するような制度を検討することを目的として、今後検討を進めていく。

### 報 告

#### 1. 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

##### 1) 平成28年度報告

大阪府医師会理事 福田 寛二

平成28年10月24日(土)に、メインテーマを「2025年問題と勤務医の役割」として大阪市で開催された。412名の先生方にご参加いただき、「おおさか宣言」の採択等、活発な

議論が交わされたことが報告された。

#### 2) 平成29年度担当医師会挨拶

北海道医師会常任理事 藤井 美穂

平成29年10月21日(土)に札幌グランドホテル(札幌市)において、北海道医師会の担当で開催する。メインテーマを「地域社会をつなぐ明日の医療を考えると一次世代を担う勤務医の未来創成のためにー」として、開催の準備を進めていることが報告された。

### 協 議

#### 1. 新たな専門医の仕組み

##### 1) 「専門医の仕組みの現状と課題」

日本医師会常任理事 羽鳥 裕

我が国では現在、将来の専門性に関わらず医師として基本的な診療能力を涵養することを目的として、卒後2年間の臨床研修が必修化されている。その後の専門研修では、各学会が独自に専門性を養成していくが、任意の研修であり、残念ながら十分な専門研修を受けないフリーター医師も増えている。

専門医とは、神の手をもつスーパードクターのことを意味するのではない。標準的な医療を提供でき、患者から信頼される医師のことである。そのような医師をいかに育てるかが、専門医制度の大きな目標、課題である。

日本専門医制評価・認定機構(旧機構)では、各学会が独自に制度を構築していたた

め、基準が不統一であり、多種多様な専門医が乱立し分かりにくかった。それを受けて、新しい組織として平成26年5月に日本専門医機構が設立された。新しい専門医の養成の仕組みは、3年程度の研修プログラムを作成し、研修施設群を形成してローテート研修を行うものである。研修プログラムについては、基本の19領域で全て一次審査を終了している。機構と学会が連携して専門医の仕組みを構築することを基本姿勢としている。

## 2) 質疑応答・ディスカッション

**大阪府医師会** 大阪府では救急患者の70%が200床以下の中小民間病院を受診している。従前の研修体制では、このような中小病院に専攻医は派遣されてこない。地域の現状に応じた大学病院・中小基幹病院への適正配置をお願いしたい。

**松原日医副会長** 救急領域については、大学病院への集中を回避するために、大学病院以外の基幹施設におけるプログラムが半数以上となるように配慮した。また、3か月以上、地域の救急病院で研修することを必修化した。医師の適正配置については、どこにどれだけの専門医・専攻医がいるのか、各学会と協力してデータベースを構築しているところである。プログラムの最終認定にあたっては、各都道府県医師会と行政とが協議して、各都道府県の状況に合わせてプログラム内容を検討し、機構と連絡を取って調整するという事になっている。先生方の要望が医師会を通じて、最終的に各プログラムに反映するような仕組みを作っている。

**鳥取県医師会** 総合診療専門医については、いわゆる家庭医として地域に出るべきでは。

**松原日医副会長** 総合診療専門医は、例えば内科も小児科も救急も診なければならない地域において、それを担う先生たちの学問的な能力を評価するということ。「学術上、医師として身に着ける専門性がどのようにあるべきか」という議論であって、制度としてまるまる家庭医を作るものではない。我々の目標は、どの地域にいる患者さんにも十分な学術的に保障された医療を供給することであり、そのための仕組みと考えていただきたい。

**日医勤務医委員会** 機構が提示している専門医制度研修プログラムは指導医数、症例数などの外形基準の縛りが主体の制度のようだ。どのように質の担保を確保するのか。

**松原日医副会長** 今後は、機構の専門医として認定されたものについてのみ広告ができる形になる。今までのように、学会が基準を満たせば全て広告ができるという形はなくす。

**日医勤務医委員会** 基幹病院から連携病院に所属が変わるときの身分保障や給与はどうなるか。

**松原日医副会長** 卒業して2年経ち研修も終了しており、医療ができる一人前の医師である。そのため雇用契約を結んだところから給料をもらうのが本来の筋であるし、もし訴訟が起きた時には、勤めている病院において身分保障をしていただくことになっている。

## 2. 医療事故調査制度

### 1) 「医療事故調査制度における都道府県医師会の支援団体活動に関する実態調査(集計結果報告)」

日本医師会常任理事 今村 定臣  
医療事故調査制度への取組みで、各都道

府県医師会が苦慮していることとして、「報告事例に該当するか否かの判断」「初動段階での支援活動を担う役職員の人材育成・確保」「院内調査報告書の作成方法」「支援団体の業務に関する経費の確保」という回答が多く挙げられた。また、「医療事故調査制度」という名称が影響し、事例報告することに対して消極的になってしまうという意見も多かった。日医としてもできるだけ早期に、制度の名称を前向きなものに変えるよう働きかけていきたい。

支援団体の取組みに係る経費について、今年度から「支援団体等連絡協議会運営事業」として、国から日医が委託を受けることになった。都道府県医師会等からの申請に基づき、日医が一括して国からの支援金を請求する。総額が9,000万円程度であり、単純平均で1都道府県あたり100万円から200万円程度の費用が補助される。

## 2) 質疑応答・ディスカッション

### ・警察の捜査が入った場合の調査の進め方について

**松原日医副会長** この制度は司法と独立したところで運営されており、警察の捜査が入る可能性がある時でも粛々と調査を進める必要がある。司法が入ったから調査をやめるということは実際上できない。

**上野日医医療安全対策委員会副委員長 警察**に届けられた事例では、医師会が間に入るのがベストだと思う。先生方が間に入って相談を受けていただければ、簡単に略式起訴になるような事例はまずない。ややこしい場合は日医に相談してもらえれば、工夫することはいろいろある。

### ・院内調査報告書の取り扱いについて

**今村日医常任理事** 院内調査報告書を遺族に渡すのは義務ではないが、意味としてはマストに近いと理解していただきたい。報告書を渡さないことに遺族が不満を持つと、司法の介入につながる。

医療事故調査制度は関係者の努力によって出来上がったところであり、日医はこの制度を育て上げたい。そのためには遺族との信頼関係の構築が最低限必要である。

**上野日医医療安全対策委員会副委員長** 報告書を渡すと遺族が納得されることが多く、渡すことに99%メリットがある。1%の心配をなくそうと思えば、報告書の精度を上げる以外にない。そのためには日常診療と同じく、報告を受けただけの可能性のある疾患を思い浮かべて地道に鑑別診断をすることが大切である。

出席者 金丸常任理事、岩村理事、串間主事

## 九州医師会連合会第363回常任委員会

と き 平成29年 6 月 3 日(土)

ところ ホテル日航熊本

### 1 開 会

### 2 九州医師会連合会長挨拶

熊本県医師会長 福田 稔

### 3 報 告

1) 九州ブロック日医代議員連絡会議(6月3日(土)熊本市)について(熊本)

2) 平成29年春の叙勲等受賞者の慶祝について(熊本)

今回は、九州各県からは該当がなく、元日本医師会長の原中勝征先生の旭日重光章受章に対し九州医師会連合会名で慶祝を行った旨の報告があった。

3) 第364回常任委員会について(時間変更)  
(福岡)

4) その他

### 4 協 議

1) 第140回日本医師会定例代議員会(6月25日(日)日医)における質問者(ブロック代表及び個人)について(熊本)

代表・個人質問に佐賀、熊本県を除く各県から6題の提案があり、協議の結果、代表質問には鹿児島県・金子洋一代議員の「どこに行った『医』の倫理」が選定された。

個人質問には、沖縄県・玉城信光代議員の「エイズ患者の高齢化に伴う介護体制」と大分県・河野幸治代議員の「かかりつけ医を中心とした『切れ目のない医療・介護』の提供と推進について」が選定された。

2) 九州地方社会保険医療協議会委員の推薦について(福岡)

九州地方社会保険医療協議会の一部(佐賀、宮崎県)委員の任期が今年10月13日で満了となる。後任委員は、九州医師会連合会の取り決めにより長崎、熊本県となっている。

また、九州地方社会保険医療協議会部会委員についても、同日に佐賀、熊本、宮崎、鹿児島県で任期満了となる。

各該当県において後任の人選依頼について、今後、九州厚生局の各県事務所から相談がなされるとのことです承された。

3) 九州医師会連合会第1回各種協議会の開催について(福岡)

平成29年10月28日午前中に第1回各種協議会、午後、九州医師会連合会総会・医学会がホテル日航福岡で開催することが了承された。

4) その他

### 5 その他

長崎の蔭本会長より、平成29年5月14日に核戦争防止国際医師会議(IPPNW)の日本支部の代表支部長に横倉日医会長が就任されたことが報告された。前回の九州医師会連合会常任委員会で組織強化について九州各県とも協力していくことが了承されている。この機に再度、組織体制づくりをお願いしたいとの要請がなされた。

出席者一河野会長、山内事務局長

## 日医インターネットニュースから

### ■介護医療院、来年4月から開設可能に － 改正介護保険法が成立 －

介護保険法等改正案は5月26日の参院本会議で、自民党、公明党、日本維新の会などの賛成多数で可決、成立した。改正法は近く官報で公布され、基本的には2018年4月に施行となる。日常的な医学管理や看取りなどの機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた新たな介護保険施設「介護医療院」は18年4月から開設が可能となる。具体的な要件については今後、社会保障審議会・介護給付費分科会で検討する見通し。

#### ●介護療養病床、経過措置は23年度末まで

改正法公布と同時に、介護療養病床の経過措置期間は現在の17年度末から6年間延長されて23年度末までになる。

#### ●「3割負担」導入は来年8月から

介護サービス利用者の3割負担導入は18年8月から始まる。3割負担対象者の範囲は今後、政令で定めることになる。

介護納付金の被用者保険間の総報酬割については、17年8月分から「2分の1」で導入し、18年度は据え置き、19年度に「4分の3」、20年度に全面導入する。

#### ●塩崎厚労相、改正法「丁寧に説明」

改正法について塩崎恭久厚生労働相は26日の閣議後会見で、地域共生社会の取り組みを進める内容を盛り込んだことを説明した一方、国民の負担増の問題にも触れ「これからあらためて丁寧に、(改正法の内容について)ご理解いただけるよう国民の皆さま方に説明していきたい」と述べた。(平成29年5月30日)

### ■新整備指針修正案を了承

#### － 専門医機構 －

日本専門医機構(吉村博邦理事長)は6月2日の理事会で、専門医制度新整備指針の修正案を全会一致で了承した。今月12日に開催予定の厚

生労働省の「今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会」(厚労省検討会)に報告した後、ホームページで公開する。理事会では、専門医制度新整備指針「運用細則」の修正案も提案されたが了承は得られず、引き続き議論することになった。運用細則修正案も了承され次第、厚労省検討会に報告される見込みだ。

吉村理事長は理事会後の会見で、新整備指針の修正案について「理事会で全会一致で決めていただいた。(厚労省の)検討会の意見を重く受け止めて修正したということだ」と説明。修正案は、5月25日の厚労省検討会で委員に配布され会議終了後に回収された内容だ。

整備指針の修正案では、機構が厚労省検討会での意見を踏まえて整理した▽専門医取得は義務付けていないことを整備指針に明記▽地域医療従事者や女性医師等に配慮したカリキュラム制の設置を整備指針に明記▽研修の中心は大学病院だけではなく、地域の中核病院等であることを整備指針に明記▽都道府県協議会に市町村を含め、研修プログラム承認後も地域医療の確保の動向を機構が協議会に情報提供し、協議会が意見を提出した際は、研修プログラムを改善することを整備指針に明記―の4つの対応方針を反映させた。

#### ●運用細則修正案を議論へ

一方で吉村理事長は、運用細則の修正案を今後、機構の基本問題検討委員会でも議論をしていくと述べた。また、サブスペシャル領域の専門医の在り方については「大変大きな課題だ。基本問題検討委員会にワーキンググループを設置することも了承された」とし、近く検討を開始する考えを示した。(平成29年6月6日)

### ■匿名加工医療情報作成事業者に名乗り

#### － 次世代医療基盤法成立で日医 －

日本医師会は、今国会で成立した次世代医療基盤法(医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律)で規定された「認定匿名加工医療情報作成事業者」(認定事業者)

に名乗りを上げる。認定事業者は、患者のカルテ情報や検査結果といった医療情報を匿名加工して研究機関などに提供する役割を担うが、医療情報は極めて機微性の高い個人情報に当たる。このため「非営利性が担保され、医療の現場の代表たる日医こそがふさわしい」と判断した。石川広己常任理事がメディアファクスの取材に明らかにした。

日医は認定事業者として、医療機関等からの医療・介護・健康などの情報(医療情報)の収集、その匿名加工化、第三者への提供を手掛ける計画。実務は、日本医師会ORCA管理機構の協力を得ながら行うことを想定する。今後、政府が示す省令の内容などを踏まえ、日医側の体制整備などを検討する。

次世代医療基盤法では「医療機関等は、あらかじめ本人(患者)に通知し、本人が提供を拒否しない場合、認定事業者に対し、医療情報を提供できる」と規定。一方、このほど施行された改正個人情報保護法では、新たに患者の病歴やゲノム情報は「要配慮個人情報」(要配慮情報)と位置付けられている。

石川常任理事は「医療情報を匿名加工する前の段階として、大事なのが医療情報の収集だ。認定事業者が医療機関等から医療情報を収集した段階では、それはまだ要配慮個人情報。だから情報収集と匿名加工は同じ事業者が担う方が理にかなう。加えて、公益性の担保が非常に重要であり、要配慮個人情報を営利企業が扱うのは危険」と説明した。

さらに「今回の制度整備の趣旨・目的では『個人の権利・利益の保護に配慮しつつ、個人や医療機関等が安心して医療等情報を提供することが可能な仕組みを創設する』ことがうたわれており、このことに鑑みても日医が認定事業者になって取り組むのは当然だ。日本の医療情報のビッグデータを扱うためにも、私たちの力が絶対に必要だと自負している」と強調した。

医療情報の収集は、協力医療機関等と患者間の信頼関係がなければ成り立たないと見ており、協力医療機関等に対しては、何らかの形で患者の理解を得るよう要請していく考え

(平成29年 6 月13日)

## ■短期入所療養介護、有床診の活用を － 介護給付費分科会 －

6月21日の社会保障審議会・介護給付費分科会では、短期入所生活介護、短期入所療養介護についても議論した。短期入所療養介護は医療ニーズがある利用者の入所先の確保が困難な状況があるため、有床診療所の活用を求める意見が上がった。

短期入所療養介護は介護老人保健施設や病院、有床診の空床を利用した宿泊サービス。利用目的ではレスパイトケアが6割以上を占めている。請求事業所数は2016年4月で3833事業所、利用者数は約5万人で微減傾向にある。算定日数に占める割合では、老健施設が97%だった。入所先の確保が困難な理由を介護支援専門員に調査した結果では、「事業所が満床である」が68.4%で最も多かった。併せて、入所先が確保できない場合の代替サービスでは、「短期入所生活介護の利用」のほか、「入院」も50.6%と高い数字だった。

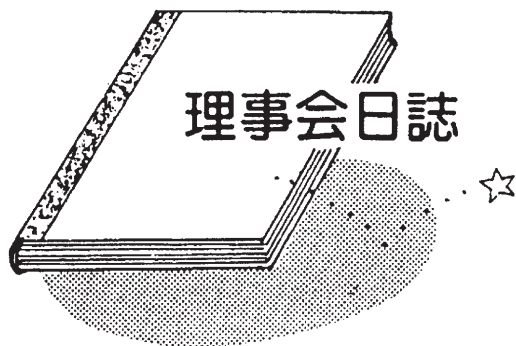
日医の鈴木邦彦常任理事は、専門特化した有床診以外では病床に余裕があるところも多いとし、「要件が厳しいのではと思う。思い切って見直して、病床の活用が推進されるようにしていただきたい」と要望した。東憲太郎委員(全国老人保健施設協会会長)は、短期入所療養介護を提供している老健施設は着実に増えているほか、レスパイトや家族の外出以外にもリハビリテーションなどを提供しているところも多いとし、適切な評価を求めた。(平成29年 6 月23日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

- ◆ユーザーID：会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)
- ◆パスワード：生年月日の「西暦2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)



平成29年 5 月 2 日(火)第 4 回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き佐々木常任理事を推薦することが承認された。

- ②第67回“社会を明るくする運動”宮崎県推進委員会委員への就任及び同推進委員会への出席について

→犯罪や非行を防止すると共に罪を犯した人たちの更正について理解を深め、明るい地域社会を築くことを目的に設置される委員会で、宮崎県の推進委員会委員に、河野会長が就任することが承認された。

#### 2. 10/ 4(水)・ 5(木)(日医)第61回社会保険指導者講習会の開催日程について

「脳血管障害診療のエッセンス」をメインテーマに開催される講習会で、参加者及び宮崎県で行われる復講の企画等については、小牧常任理事が中心となって検討を進めることが承認された。

#### 3. 7/30(日)(日医)「平成29年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」の開催について

診療報酬の「地域包括診療加算」、「地域包括診療料」の施設基準となっている“慢性疾患の指導に係る適切な研修”に該当する研修会で、テレビ会議による動画配信を受け、全会員に案内すると共に各郡市医師会に情報提供することが承認された。

#### 4. 業務委託について

- ①県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→主に県立高等学校の1年生を対象に行われる心臓検診の委託契約で、昨年同様、生徒1人当たり2,268円(税込)で契約を締結することが承認された。

- ②県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契約について  
→学校医が定期健康診断の際、結核健診が必要と認めた生徒に対して行われる結核健康診断業務で、昨年同様、委託契約を締結することが承認された。

### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 4月末日現在の会員数について
3. 4/29(土)(宮観ホテル)宮大医学部第三内科開講40周年記念懇親会について
4. 4/27(木)(東京)地域医療介護総合確保基金(医療分)ヒアリングについて
5. 5/ 2(火)(県医)治験審査委員会について
6. 4/26(水)(県医)病院部会・医療法人部会合同理事会について
7. 4/27(木)(県医)産業医部会理事会について

### 医師連盟関係

#### (議決事項)

1. 5/24(水)(東京)敬人会夕食勉強会のご案内  
甘利明衆議院議員を講師に迎え開催される勉強会であるが、今回は、協力しないことが承認された。
2. 6/20(火)地域医療構想に係る意見交換会の開催について

地域医療構想は県民の将来を大きく左右するものであるにも関わらず、十分な理解が進んでいないことから、県議会の正・副議長、厚生常任委員会、県議会自民党執行部を対象に意見交換会を開催することが承認された。

平成29年 5 月 9 日(火)第 5 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 平成29年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される協議会で、常任委員に富田副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県自殺対策推進協議会の委員等の推薦について

→県内の関係機関が連携し総合的な自殺対策を推進することを目的に設置される協議会で、協議会の委員に吉田常任理事、高齢者部会の委員に立元常任理事、自殺未遂者・遺族部会の委員に嶋本理事を推薦することが承認された。

3. 宮崎県医療功労者知事表彰の推薦について(再)

4/25の全理事協議会で協議した推薦者について、宮崎市郡医師会から推薦者の変更依頼があったことから、年齢及び役員歴等を踏まえ再考の結果、6名の会員を推薦することが承認された。

4. 平成29年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣及び県教育長被表彰者の推薦について

学校保健等の普及と充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、各都市医師会

に照会の結果、文部科学大臣表彰2名と県教育庁表彰15名を推薦することが承認された。

5. 業務委託について

①平成29年度県認知症地域医療支援事業の業務委託契約について

→主に、認知症サポート医フォローアップ研修、かかりつけ医認知症対応力向上研修、みやざきオレンジドクター普及、多職種連携強化、医療従事者向け認知症対応力向上研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/27(土)(JA-AZM)総務会並びに県連大会のご案内について

総務会については、河野委員長が対象であるが、午前中の開催であるため欠席し、県連大会から出席することが承認された。

平成29年 5 月 23 日(火)第 6 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員の確認及び推薦について

→後期高齢者医療制度の適性かつ円滑な運営に資するために設置された懇話会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き小牧常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県健康づくり協会理事の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長を推薦することが承認さ

れた。

- ③第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭開催に係る実行委員会委員への就任について

→平成32年に宮崎県で国民文化祭等が開催される予定であることから、その準備のため実行委員会を設置するもので、河野会長が委員に就任することが承認された。

## 2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①7/2(日)(宮崎市民プラザ)名義後援の申請について

→「みんなで支える緩和ケア～がんの痛み、つらさを我慢しないで～」をテーマに、宮大医学部看護学科(成人・老年看護学講座)が共催し開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

- ②9/16(土)日本消化器病学会九州支部第93回市民公開講座の名義後援について

→「知りたい・聞きたい消化器の病気：子どもの頃からお腹を健やかに」をメインテーマとして開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

## 3. 「第48回中四九地区医師会看護学校協議会」への担当理事派遣について

中国・四国・九州地区の36の医師会立看護学校が加盟し、持ち回りで開催されている協議会で、佐藤理事が出席することが承認された。

## 4. 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

## 5. 業務委託について

- ①小児科専門研修医症例研究事業に関する

業務の委託契約について

→県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を実施することによって、小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図る事業で、契約を締結することが承認された。

## 6. 受動喫煙防止対策を強化・実現するための署名への対応について

日本医師会が「国民の健康を守る専門家集団」として、例外規定や特例を設けることなく受動喫煙防止対策を強化・実現するために署名活動を行うもので、目標を達成すべく署名活動に協力すると共に郡市医師会及び医療機関等へ協力依頼を行うことが承認された。

## (報告事項)

### 1. 週間報告について

### 2. 5/10(水)支払基金)支 払 基 金 幹 事 会 に つ い て

### 3. 5/15(月)(宮大医学部)宮大医学部カリキュラム委員会について

### 4. 5/16(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

### 5. 5/18(木)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会 5 月例会並びにしのめ医学会について

### 6. 5/13(土)(日医)各国におけるヘルスデータベースの現状と課題に関する国際会議について

### 7. 5/15(月)・22(月)(県医)広報委員会について

### 8. 5/17(水)(県医)保育支援事業打合せ会について

### 9. 5/18(木)(日医)日医医療IT委員会について

### 10. 5/12(金)～14(日)(香川)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について

### 11. 5/22(月)(県医)県臨床研修・専門研修運営協議会WGについて

### 12. 5/20(土)(県医)産業医部会総会・研修会について

### 13. 5/12(金)(県医)認知症サポート医フォローアップ研修会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

#### 1. 6/11(日)(MRTmicc)参議院議員長峯誠政経セミナーのご案内について

前文部科学大臣・教育再生担当大臣の馳浩(はせ ひろし)衆議院議員を講師に招き開催されるセミナーで、協力することが承認された。

#### 2. 6/27(火)(宮観ホテル)衆議院議員江藤拓政経セミナーについて

元農林水産大臣の林芳正参議院議員を講師に招き開催されるセミナーで、協力することが承認された。

#### 3. 7/14(金)(シーガイア)衆議院議員武井俊輔国政報告会のご案内について

シーガイアコンベンションセンターで開催される国政報告会で、協力することが承認された。

##### (報告事項)

1. 5/16(火)(日医)日医連常任執行委員会について
2. 5/16(火)(日医)日医連執行委員会について
3. 5/21(日)(宮観ホテル)河野しゅんじ県政報告会について

平成29年 5 月30日(火)第 2 回全理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 会費減免申請について

高齢による減免 1 名(県医), 疾病による減免 1 名(日医・県医), その他の事由(研修医 1 年次)38 名及び(研修医 2 年次)48 名の減免が承認された。

#### 2. 母体保護法指定医師申請について

母体保護法指定医師審査委員会の答申を

受け, 指定医師 1 名及び設備指定 1 施設を承認した。

### 3. 業務委託について

#### ①家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業に係る委託契約について

→望まない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に, 実態調査を行うと共に手引き等を作成・配付する事業で, 引き続き契約を締結することが承認された。

#### ②HTLV-1(ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型)母子感染対策事業に係る委託契約について

→HTLV-1キャリアや発病者に対する適切な診療と相談支援体制の整備を目的に, 研修会の開催や実態調査等を行う事業で, 引き続き契約を締結することが承認された。

#### ③健やかな心と体を育む健康教育「専門医による性に関する相談事業」に係る委託契約について

→10代の人工妊娠中絶, 性感染症, 性の逸脱行動等の諸問題を解決するために行う専門医の相談事業等で, 引き続き契約を締結することが承認された。

#### ④平成29年度肝炎ウイルス検査事業に係る業務委託について

→20歳以上の県民(宮崎市を除く)で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象に行われる事業で, 契約を締結することが承認された。

### 4. 後援・共催名義等使用許可について

#### ①第218回全国禁煙アドバイザー育成講習会in宮崎の名義後援について

→「広げよう禁煙支援の輪ーほんの少しは 0 じゃない」をテーマに開催される禁煙アドバイザー育成講習会で, 名義後援を行うことが承認された。

## 5. 7/11(火)(宮観ホテル)平成29年度県医師会と県福祉保健部・病院局との意見交換会の開催について

県行政主催で開催される意見交換会等で、スケジュールの確認が行われ、提出議題等があれば事務局に申し出ることが承認された。

## 6. 本会外の役員等の推薦について

### ①宮崎県社会福祉審議会委員の推薦について

→社会福祉に関する事項を調査審議する審議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼であり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

### ②宮崎県社会福祉審議会臨時委員の推薦について

→身体障害者の障害程度等を調査、審議する身体障害者福祉専門分科会の臨時委員で、任期満了に伴う推薦依頼があり、現臨時委員の9名に再任の方向で意向を確認すると共に、辞任の意向であれば推薦母体に後任の人選を依頼することが承認された。

### ③レセプト点検に係る審査医師の推薦について

→レセプト内容点検に係る医学的な助言等を行う審査医師の推薦依頼で、内科及び外科を希望していることから、県内科医会及び県外科医会に人選を依頼することが承認された。

## 7. 社保審査委員の推薦について

選任基準に従い県医師会及び郡市医師会並びに専門分科医会から出された審査委員44名を決定すると共に、診療担当者代表として15名を推薦することが承認された。

## 8. 6/8(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会について

6 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

## 9. 6・7月の行事予定について

6月の追加行事の確認が行われた。

### (報告事項)

#### 1. 週間報告について

#### 2. 5/26(金)(熊本)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について

#### 3. 5/30(火)(県庁)県医療介護推進協議会について

#### 4. 5/30(火)(県庁)県医療審議会について

#### 5. 5/27(土)(県医)死体検案研修会について

#### 6. 5/28(日)(県医)日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について

#### 7. 5/19(金)(東京)医療計画策定研修会について

#### 8. 5/29(月)(県医)県糖尿病対策推進会議幹事会について

#### 9. 4/28(金)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

#### 10. 4/26(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

#### 11. 5/21(日)(東京)全国有床診療所連絡協議会役員会について

#### 12. 5/10(水)(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について

#### 13. 5/26(金)(東京)全国メディカルコントロール協議会連絡会について

#### 14. 平成29年度ロコモティブシンドローム認知度調査実施と調査結果について

#### 15. その他

##### ①医師資格証について

##### ②受動喫煙防止対策を強化・実現するための署名について

### 医師連盟関係

#### (報告事項)

#### 1. 5/27(土)(JA-AZM)自民党県連大会について

# 県 医 の 動 き

(6 月)

|    |                                                                                                                                                                         |    |                                                                                                     |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 県内科医会評議員会(小牧常任理事)<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)                                                                                                                                   | 14 | 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事)<br>支払基金幹事会(会長)<br>県急性期脳卒中医療協議会・講演会(岩村理事)<br>医家芸術展世話人会(濱田副会長他)                    |
| 2  | (日医)日医ワークショップ「会員の倫理・資<br>質向上をめざして」(石川常任理事)<br>(日医)救急災害医療対策委員会<br>(佐々木常任理事)                                                                                              | 15 | 社会保険医療担当者(医科)の個別指導<br>(小牧常任理事)<br>広報委員会(富田副会長他)                                                     |
| 3  | (佐賀)九州連合産科婦人科学会・九州ブロッ<br>ク産婦人科医会(濱田副会長他)<br>(熊本)九医連常任委員会(会長)<br>(熊本)九州ブロック日医代議員連絡会議<br>(会長他)<br>(大阪)全国医師協同組合連合会購買部・福<br>祉部合同研修会(立元副理事長)                                 | 16 | 宮大経営協議会(会長)<br>宮大専攻長選考会議(会長)<br>県産婦人科医会 県との妊婦健診公費負担に<br>関する協議会(濱田副会長他)                              |
| 4  | (佐賀)九州連合産科婦人科学会・九州ブロッ<br>ク産婦人科医会(濱田副会長他)<br>(大阪)全国医師協同組合連合会購買部・福<br>祉部合同研修会(立元副理事長)                                                                                     | 17 | 医協通常総代会(富田理事長他)<br>県医連執行委員会(河野委員長他)<br>県医定例代議員会(会長他)<br>国政報告会(会長他)<br>県医総会(会長他)                     |
| 5  | 県有床診療所協議会役員会(会長他)                                                                                                                                                       | 18 | (福岡) e レジフェア in 福岡(金丸常任理事)<br>県小児科医会役員会(高村常任理事他)                                                    |
| 6  | 県学校保健会理事・評議員会(会長他)<br>学校保健・学校安全に係る表彰審査会(会長)<br>治験審査委員会(富田副会長他)<br>第1回理事会(会長他)<br>第3回全理事協議会(会長他)                                                                         | 19 | 勤務医部会会計監査<br>医師国保組合定例事務監査(秦理事長他)<br>勤務医部会理事会(富田副会長他)                                                |
| 7  | (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>(富田副会長)                                                                                                                                            | 20 | 地域医療構想に係る意見交換会(会長他)                                                                                 |
| 8  | 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導<br>(立元常任理事)<br>県認知症高齢者グループホーム連絡協議会<br>理事会(金丸常任理事)<br>県整形外科医会会計監査<br>学校医部会理事・評議員会(会長他)<br>県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)<br>日本産科婦人科学会専門医制度宮崎地方委<br>員会(濱田副会長他) | 21 | 県アイバンク協会理事会(会長)<br>広報委員会(荒木常任理事他)                                                                   |
| 9  | 宮大医学部6年生対象マッチング&県内基<br>幹型臨床研修病院合同説明会(会長)<br>県医師会医学会役員会(会長他)                                                                                                             | 22 | 児湯医師会総会                                                                                             |
| 10 | 産業医研修会(実地)(佐々木常任理事)<br>日向市東臼杵郡医師会定時総会<br>(日向市東臼杵郡医師会館)<br>県内科医会総会(小牧常任理事)<br>県整形外科医会理事会(川野理事)                                                                           | 23 | 県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会<br>(会長)<br>西諸医師会定時総会(西諸医師会館)                                                    |
| 11 | 衆議院議員馳浩先生を囲んでの昼食会<br>(会長)<br>医療メディエーター養成研修会導入編<br>(富田理事長他)<br>参議院議員長峯誠政経セミナー(会長)                                                                                        | 24 | 県専門研修合同説明会(金丸常任理事)<br>(東京)九州ブロック日医代議員連絡会懇親<br>会(会長他)                                                |
| 12 | 病院部会・医療法人部会総会<br>(池井常任理事他)<br>県内科医会会誌編集委員会(小牧常任理事)                                                                                                                      | 25 | (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議<br>(会長他)<br>(日医)日医定例代議員会(会長他)                                                   |
| 13 | 第7回常任理事協議会(会長他)                                                                                                                                                         | 26 | (西都市西児湯医師会)<br>西都市西児湯医師会定時総会宮崎市郡医師<br>会予防接種勉強会(TV会議)(高村常任理事)<br>県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事)                |
|    |                                                                                                                                                                         | 27 | 県移植推進財団評議員会(会長)<br>医協理事会(富田理事長他)<br>第8回常任理事協議会(会長他)                                                 |
|    |                                                                                                                                                                         | 28 | (日医)日医学術推進会議(会長)<br>県歯科保健推進協議会部会(荒木常任理事)<br>労災診療指導委員会(川野理事他)                                        |
|    |                                                                                                                                                                         | 29 | 地域医療における働きやすい環境を考える<br>会学生向けセミナー(荒木常任理事)<br>園医部会理事会(会長他)<br>在宅医療研修会企画小委員会(石川常任理事)<br>(延岡)延岡市医師会定時総会 |
|    |                                                                                                                                                                         | 30 | (大分)全国有床診療所連絡協議会総会会長<br>招宴(会長)<br>勤務医部会総会(富田副会長他)<br>勤務医部会前期講演会(富田副会長他)<br>県内科医会理事会(小牧常任理事)         |

## 追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

江 崎

豊 先生

(昭和34年 2 月13日生 58歳)

## 弔 辞

ここに、今は亡き江崎  
豊先生のご葬儀が執り行  
われるにあたり、延岡市  
医師会を代表いたしまし  
て、謹んで哀悼の意を表  
し、お別れの言葉を申し  
上げます。

先生が、去る29日の早朝にお亡くなりになっ  
たとの知らせに、あまりにも突然のことで驚  
き、そして今は、私共医師会の大切な友人を  
失った悲しみとさみしさで、申し上げる言葉も  
ございません。

ましてや、奥様、お子様方、お母様をはじ  
め、ご遺族を含め、先生を慕われる多くの皆様  
方のお悲しみは如何ばかりかと、お察し申し上  
げ、衷心よりお悔やみ申し上げます。

江崎先生、58歳で逝かれるとは、あまりにも  
早いお別れです。

先生は、昭和34年 2 月13日に、生を受けられ  
まして、医学の道を志しになり、平成元年、埼  
玉医科大学をご卒業なさいました。その後、埼  
玉医科大学の研修医となられまして、平成 3 年  
に埼玉医科大学第三内科へ入局後、平成 5 年に  
は秩父市立病院にご勤務をされました。

平成 6 年に延岡市へ戻られまして、お父様の  
江崎隆先生の片腕として、地域医療に貢献すべ  
く、江崎医院でご勤務をされました。

先生は、お父様同様に温厚かつ誠実なお人柄  
であり、仕事熱心で、患者様の信頼も厚く、地  
域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力され

ながら、地域医療についても深い関心を持ち、  
患者様に絶大なる信頼と尊敬を受けておられま  
した。

平成19年にお父様がお亡くなりになられた後  
は江崎医院を引き継がれ、昼夜を問わず献身的  
な診療に携わってこられました。

特に時間外の救急医療確保の一貫といたしま  
して医師会でおこなっております日曜祝祭日の  
在宅当番医や、急病センターの勤務にも多大な  
ご尽力をいただきました。そのご功績に敬意  
を表するものでございます。

また、先生はご多忙な診療の傍ら、平成18年  
から26年までの 8 年間、延岡市医師会の理事と  
なられました。

当時の先生は、広報、看護師研修、学校保  
健、会員福祉の担当理事となられまして、その  
職責を全うしていただきました。このところ恒  
例となっております会員の親睦会として延岡市  
須美江でおこなっておりますテニス大会は江崎  
先生の発案・ご尽力によるものです。

理事退任後も、我々執行部のよき理解者とし  
て、医師会の事業推進にご協力を賜りました。  
先生は医師会の会合には必ずご出席下さってお  
りました。

また、さらには医人カメラクラブなどにも参  
加され、友人も多く、医師会の先輩や仲間との  
親睦も大事にされておられました。

今、先生のことを想いおこしますと、先生は  
医師会の委員会や例会、親睦会などにご参加さ  
れて、いつものように、にこやかな笑顔で、皆  
さんとお話されているお姿がなつかしく想い出  
されます。

このような延岡市医師会の歴史を創ってきた  
一員としての先生がご逝去なさいましたこと  
は、会員にとりまして、かけがえのない財産を

失うことであり、痛恨の極みであります。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域住民のために尽くしてこられたご功績を忘れることなく、会員一同、地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することは出来ませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げます、黄

泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、私のお別れの言葉といたします。

江崎豊先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成29年 5 月31日

延 岡 市 医 師 会

会長 吉 田 建 世



## 追 悼 の こ と ば

西諸医師会

まえ だ てる ひさ  
前 田 昭 久 先生

(昭和2年5月15日生 91歳)

## 弔 辞

本日、ここに 故 前田昭久先生の告別式が執り行われるにあたり、西諸医師会を代表致しまして、先生の御霊に謹んでお別れのことばを申し上げます。

先生は、まだまだお元気なお姿でお過ごしのことと思っておりましたところ、6月10日午前2時19分ご逝去されたとの突然の悲報に驚倒し、会員一同深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は世の常とは申しながら、享年91歳にして先生は遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私共医師会の会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、奥様をはじめご親族の皆様のご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、ただただ心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、昭和2年5月15日にこの世に生を享けられ、幼少にしてその才誉れ高く長ずるに及び医学の道に志を立てられて、昭和29年3月に久留米医科大学をご卒業になられたのであります。

その後、幾多の研鑽を積まれますと共に、昭和31年から昭和33年の間、国立都城病院の小児科に勤務された後、昭和33年4月に高原町に前田医院を開設されたのであります。

先生は、当医師会におきましては昭和51年4月から昭和53年3月までの2年間を理事、昭和57年4月から昭和59年3月までの2年間を監事、昭和59年4月から昭和63年3月までの4年間を理事、昭和63年4月から平成2年3月まで

の2年間を副会長、さらに平成2年4月から平成8年3月までの六年間を会長として、長きにわたり医師会活動にも積極的に貢献され、会の組織強化と健全な運営を図るとともに医道の高揚に努められました。

また、昭和63年4月から平成2年3月までの2年間は、小林准看護学校長として地域医療を担う看護師の養成にも多大なるご尽力をいただいたのであります。

また、宮崎県医師会代議員などの要職も務められ、当西諸地域内にとどまらずご活躍されておられます。先生の地域医療に対する献身的なご功績に対し、平成8年には宮崎県知事より医療功労者として表彰されておられます。

また、多忙な診療の中、高原小学校及び高原中学校の学校医としても、開業された昭和33年から平成19年までの48年間、児童生徒の健康管理と保健指導にも積極的に意をそそがれ、平成9年には学校保健及び学校安全功労者として宮崎県教育長より表彰されておられます。

また、先生の温厚誠実なお人柄は地域住民にも敬愛され厚く信望を集めておられました。

先生は病床に臥されるまでの長き歳月を内科医、そして小児科医として地域医療のために身を捧げてこられたのであります。

私共後続くものとして、改めて深甚の敬意を表しますとともに感謝の気持ちで一杯であります。

前田昭久先生、惜別の情をつくし得ませんが、今ここに在りし日の先生の面影を偲びつつ心からご冥福をお祈り申し上げ、また医師会会員一同、微力ながら地域医療の発展に努めることとお誓いしお別れの言葉と致します。

先生、どうぞ安らかに眠り下さい。

平成29年6月12日

西 諸 医 師 会

会長 内 村 大 介

## 6 月のベストセラー(宮崎県)

集計：2017年 6 月 1 日～6 月25日

|                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 君の膵臓をたべたい          | 住 野 よ る 双 葉 社     |
| 2 劇場                 | 又 吉 直 樹 新 潮 社     |
| 3 多動力                | 堀 江 貴 文 幻 冬 舎     |
| 4 か「」く「」し「」ご「」と「     | 住 野 よ る 新 潮 社     |
| 5 アキラとあきら            | 池 井 戸 潤 徳 間 書 店   |
| 6 コーヒーが冷めないうちに       | 川 口 俊 和 サンマーク出版   |
| 7 儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇 | ケント・ギルバート 講 談 社   |
| 8 因果                 | 上 田 秀 人 講 談 社     |
| 9 肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい   | 西 山 耕 一 郎 飛 鳥 新 社 |
| 10 九十歳。何がめでたい        | 佐 藤 愛 子 小 学 館     |

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

## お知らせ

## 平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

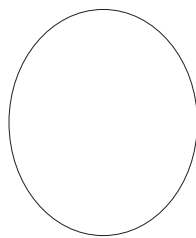
|                                                           |                                                          |                                                        |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 宮崎学園短期大学<br>(宮崎市)                                         | 宮崎医療管理専門学校<br>(宮崎市)                                      | 都城コアカレッジ<br>(都城市)                                      |
| 就職希望者 19名<br>(女 19名)                                      | 就職希望者 20名<br>(男 3名, 女 17名)                               | 就職希望者 2名<br>(女 2名)                                     |
| 連絡先：TEL0985-85-0146<br>宮崎市清武町加納丙1415<br>担当：田村 広美<br>武村 順子 | 連絡先：TEL0985-86-2271<br>宮崎市田野町甲1556-1<br>担当：福元 進<br>鬼束 咲子 | 連絡先：TEL0986-38-4811<br>都城市吉尾町77-8<br>担当：吉原真由美<br>中山さおり |

## ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介しますコーナーです。

串間市  
串間市市来診療所

き むら より お  
木 村 頼 雄



住 所

串間市

専門科目

内科

家族構成

長男(25歳)

略 歴

昭和46年 福岡県立修猷館高校卒業

昭和54年 鹿児島大学卒業

九州大学第二内科入局

昭和60年 琉球大学第三内科助手

平成12年 門司掖済会病院内科部長

平成29年 串間市市来診療所勤務

趣 味

……?!

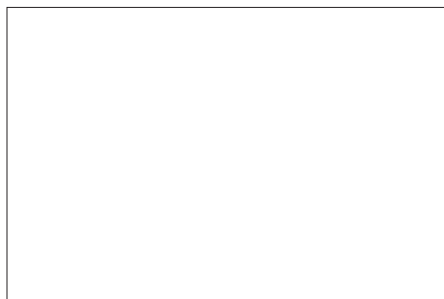
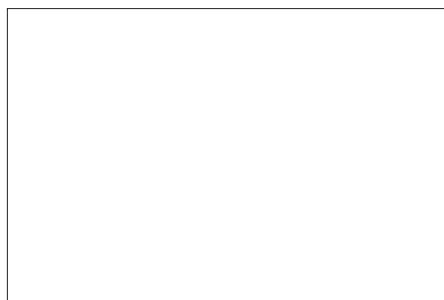
自己紹介

平成29年 2 月より串間市

市来診療所に勤務しております。

多くの先生方の御助力をいただきながら、市来地区の医療の充実につとめたいと思います。何卒よろしく、お願い申し上げます。

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館 1 階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の 2 週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

医療勤務環境改善支援センターを

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成29年 6 月13日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 3人

#### 1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
| 内 科    | 1     | 0   | 1     |
| 老 健    | 2     | 1   | 1     |

#### 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
|        | 0     | 0   | 0     |

### 2. 斡旋成立件数 58人 (人)

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 29 年 度  | 2    | 1    | 3   |
| 平成 16年度から累計 | 42   | 16   | 58  |

### 3. 求人登録 95件 334人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 117 | 88  | 29  |
| 外 科        | 31  | 26  | 5   |
| 整 形 外 科    | 25  | 22  | 3   |
| 精 神 科      | 18  | 16  | 2   |
| 循 環 器 科    | 5   | 4   | 1   |
| 脳 神 経 外 科  | 12  | 9   | 3   |
| 消 化 器 内 科  | 12  | 9   | 3   |
| 麻 酔 科      | 10  | 8   | 2   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放 射 線 科    | 10  | 9   | 1   |
| 小 児 科      | 1   | 0   | 1   |
| 呼 吸 器 内 科  | 11  | 10  | 1   |
| リハビリテーション科 | 5   | 4   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神 経 内 科    | 7   | 6   | 1   |
| 救 命 救 急 科  | 7   | 7   | 0   |
| 健 診        | 3   | 1   | 2   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 1   | 0   |
| 泌 尿 器 科    | 1   | 0   | 1   |
| 検 診        | 4   | 2   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人 工 透 析    | 4   | 4   | 0   |
| 在 宅 担 当 医  | 1   | 1   | 0   |
| そ の 他      | 33  | 28  | 5   |
| 合 計        | 334 | 268 | 66  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                      | 所在地   | 募集診療科                               | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|----------------------------|-------|-------------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                    | 宮 崎 市 | 検診                                  | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | (医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外, 整, 放, 麻, 内                      | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | (医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮 崎 市 | 乳外, 放, 内, 麻                         | 3   | 常勤     |
| 160020 | (財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精, 内                                | 2   | 常勤     |
| 160031 | (社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼内, 神内, 眼, 総診, 呼外,<br>病理, 乳外, 整外, 麻 | 11  | 常勤     |
| 160033 | (医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                                   | 2   | 常勤     |
| 170046 | (医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内, 内分泌内, 呼内, リウ,<br>神内, 健診         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | (医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内, 放, 在宅                            | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院                | 宮 崎 市 | 内, 神内, 整, 消内                        | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                  | 宮 崎 市 | 内(緩和), 消内, 呼内, 総診                   | 8   | 常勤     |
| 190094 | (医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 総内, 内視鏡                             | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | (医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                                   | 1   | 常勤     |
| 200104 | (医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整,<br>麻           | 7   | 常勤     |
| 200105 | (医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 放                             | 3   | 常勤     |
| 210110 | (医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                                   | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                       | 宮 崎 市 | 内, 整, リハ                            | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | (医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内, 精                                | 2   | 常勤     |
| 230132 | (医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230134 | (医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき         | 国 富 町 | 内, 外                                | 2   | 常勤     |
| 230143 | (医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外, 内                               | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                     | 宮 崎 市 | 総内, 呼内, 消内, 健診                      | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | (財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内, 神内, 外, 整, 脳外, リハ,<br>麻, 救急, 緩和   | 10  | 常勤     |
| 230148 | (医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外, 形成外, 外, 麻                       | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | (医)健心会 滝口内科医院              | 宮 崎 市 | 内                                   | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                     | 宮 崎 市 | 公衆衛生                                | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                 | 宮 崎 市 | 健診                                  | 1   | 非常勤    |
| 230171 | (医)いなほ会 日高医院               | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会             | 宮 崎 市 | 内, 小, 整                             | 1   | 常勤     |
| 230177 | (医)社団尚成会 近間病院              | 宮 崎 市 | 内, 消内, 消外, 放(いずれか)                  | 1   | 常勤・非常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑              | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230180 | (一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院     | 宮 崎 市 | 内, 糖内, 呼内, 血内                       | 4   | 常勤     |
| 160008 | (医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                                   | 1   | 非常勤    |
| 160010 | (特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内, 消内, 整, 神内                        | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | (医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内, 救急, 放, 脳外, 外, 眼,<br>透内, 皮        | 8   | 常勤     |
| 170057 | (医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内, 外, 整                             | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター             | 都 城 市 | 内, 呼内, 総診                           | 4   | 常勤     |
| 180081 | (医)恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                  | 都 城 市 | 内, 呼内                               | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                       | 都 城 市 | 精, 内                                | 3   | 常勤     |
| 230127 | (医)倫生会 三州病院                | 都 城 市 | 外, 内, 整                             | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑              | 都 城 市 | 不問                                  | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施 設 名                  | 所在地   | 募集診療科                            | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|------------------------|-------|----------------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医) 宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医) 魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内, リハ                            | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医) 一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                 | 都 城 市 | 内, 透, 循内, 救急, 放, 病理,<br>呼内, 精    | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医) 静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                                | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230179 | 医) 与州会 柳田クリニック         | 都 城 市 | 外                                | 1   | 非常勤    |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう          | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230183 | 医) 恵心会 坂元医院            | 都 城 市 | 消内, 老人内                          | 2   | 非常勤    |
| 160012 | 医) 伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外, 整, 放, 内                       | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医) 建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                                | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医) 健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外, 内, 緩和                         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                   | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医) 育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦, 内                            | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院               | 延 岡 市 | 消内, 消外, 内                        | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター            | 延 岡 市 | 内, 小                             | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ        | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医) 中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック            | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医) 誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外, 内, 整, 神内                      | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院            | 門 川 町 | 内                                | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院          | 美 郷 町 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所         | 美 郷 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院               | 日 向 市 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院                | 都 農 町 | 内, 放, 外                          | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医) 宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 内, 腎内, 麻, 総診, 外, 整,<br>脳外, 眼, 健診 | 13  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園          | 高 鍋 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医) 隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医) 慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内, 外, 整                          | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医) 同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医) 愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医) 十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精, 内(いずれか)                       | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院               | 日 南 市 | 内, 外, 整, リハ, 在宅                  | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                 | 串 間 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                 | 日 南 市 | 不問                               | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里           | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医) 秀英会 英医院             | 串 間 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医) 月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                                | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230182 | 串間市市木診療所               | 串 間 市 | 総診, 内(いずれか)                      | 1   | 常勤     |
| 160019 | 医) 相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内, 皮                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医) 和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                 | 小 林 市 | 救急, 総診, 放                        | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医) 友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外, 循内, 整, 脳外                     | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医) 浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精, 内                             | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医) 友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医) 三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外, 内, 放, 外, リハ                  | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわかセンター        | 小 林 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医) 連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医) 高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院           | 五ヶ瀬町  | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院               | 高千穂町  | 内, 透                             | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院               | 日之影町  | 内, 整                             | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成29年6月13日現在

|                 |                                                                                                                                                  |                                       |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番<br>土地のみ：2022.17㎡(593.57坪)                                                                                               | 所有者：児湯医師会員<br>(医) 松雲会 林クリニック          |
|                 | ②西都市中央町2丁目6番地<br>土地：2,280.83㎡(691.16坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡ }<br>2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪)<br>3階 177.95㎡ }<br>※別途駐車場あり(20台) | 所有者：西都市西児湯医師会員<br>図師医院跡               |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ①小林市南西方49番地1<br>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                    | 所有者：西諸医師会員<br>(医) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック跡 |
|                 | ②日向市鶴町2丁目9番15号<br>土地：792㎡(240坪)<br>建物：RC造 鉄骨造<br>1階 237.49㎡ }<br>2階 338.25㎡ } 913.99㎡(276.96坪)<br>3階 338.25㎡ }<br>※別途駐車場あり(10台)                  | 所有者：日向市東臼杵郡医師会員<br>三ヶ尻整形外科跡           |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の用紙をご利用ください。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お 名 前 :

ご 所 属 :

T E L :

F A X :

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 6 月 27 日

| 7 月 |   |                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                    |    |   |                                  |                                                                                                                           |
|-----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 土 | 14:00                                                                                           | 全国有床診療所連絡協議会総会                                                                                                                                                                                                     | 18 | 火 | 18:20<br>19:00                   | 医協打合せ会<br>第10回常任理事協議会                                                                                                     |
| 2   | 日 | 9:00<br>10:00                                                                                   | 全国有床診療所連絡協議会総会<br>レジナビフェアin大阪                                                                                                                                                                                      | 19 | 水 |                                  |                                                                                                                           |
| 3   | 月 |                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                    | 20 | 木 | 14:00<br>15:00<br>19:00<br>20:00 | 九州ブロック保健所長会総会<br>県ジェネリック医薬品安心使<br>用促進協議会<br>学術生涯教育委員会<br>新規保険医療機関への説明                                                     |
| 4   | 火 | 18:00<br>19:00                                                                                  | 治験審査委員会<br>第9回常任理事協議会                                                                                                                                                                                              | 21 | 金 | 15:00<br>19:00<br>19:45          | (日医)日医予防接種・感染症<br>危機管理対策委員会<br>労災部会自賠委員会<br>損害保険医療協議会                                                                     |
| 5   | 水 | 14:00<br>15:15                                                                                  | 九州地方社会保険医療協議会総会<br>(予定)<br>県個人情報保護審議会                                                                                                                                                                              | 22 | 土 | 13:30<br>14:00<br>15:00          | 男女共同参画フォーラム<br>人体シミュレータを用いた在<br>宅医療研修会<br>九州地区医師会立共同利用施<br>設連絡協議会                                                         |
| 6   | 木 |                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                    | 23 | 日 | 9:00<br>9:00                     | 九州地区医師会立共同利用施<br>設連絡協議会<br>人体シミュレータを用いた在<br>宅医療研修会                                                                        |
| 7   | 金 | 13:30                                                                                           | 県地方独立行政法人評価委員会                                                                                                                                                                                                     | 24 | 月 | 15:30<br>19:00<br>19:00          | 県精神科救急医療システム連<br>絡調整委員会<br>広報委員会<br>公衆衛生・感染症/予防接種合<br>同委員会                                                                |
| 8   | 土 | 11:30<br>13:30<br>15:00<br>15:00<br>15:30<br>15:30<br>16:00<br>16:10<br>17:00<br>18:00<br>19:00 | 県認知症高齢者グループホーム連<br>絡協議会理事会<br>県認知症高齢者グループホーム連<br>絡協議会総会・研修会<br>県外科医会理事・評議員会<br>県整形外科医会評議員会<br>県外科医会総会<br>県整形外科医会総会<br>九州医師協同組合連合会購買・保<br>険部会<br>労災部会総会<br>県外科医会・県整形外科医会・労<br>災部会合同学会<br>九医連常任委員会<br>九州医連連絡会常任執行委員会 | 25 | 火 | 15:00<br>18:15<br>19:00          | 県総合計画審議会・県地方創生推<br>進懇話会<br>医協理事会<br>第11回常任理事協議会                                                                           |
| 9   | 日 | 11:00                                                                                           | 九医連視察                                                                                                                                                                                                              | 26 | 水 | 14:30<br>15:00                   | (日医)日医医療情報システム協議<br>会運営委員会<br>労災診療指導委員会                                                                                   |
| 10  | 月 | 10:00                                                                                           | 県後期高齢者医療広域連合運営懇<br>話会                                                                                                                                                                                              | 27 | 木 | 14:00<br>15:00<br>19:00          | 宮大医学部医の倫理委員会<br>(日医)日医医療IT委員会<br>医師国保組合通常組合同会                                                                             |
| 11  | 火 | 18:30<br>19:00<br>19:30                                                                         | 第4回全理事協議会<br>県福祉保健部・病院局との意見交<br>換会<br>県福祉保健部・病院局との懇談会                                                                                                                                                              | 28 | 金 | 13:00<br>13:00<br>15:00          | 九州各県アイバンク連絡協議会<br>・全国アイバンク連絡協議会<br>国保連合会通常総会<br>(日医)日医公衆衛生委員会                                                             |
| 12  | 水 | 16:00<br>19:00                                                                                  | 支払基金幹事会<br>広報委員会                                                                                                                                                                                                   | 29 | 土 | 9:00                             | 医療メディエーター養成研修<br>会基礎編                                                                                                     |
| 13  | 木 | 13:30<br>19:00<br>19:30                                                                         | 社会保険医療担当者(医科)の個別<br>指導<br>医師国保組合理事会<br>県産婦人科医会常任理事会                                                                                                                                                                | 30 | 日 | 9:00<br>9:15<br>9:55<br>12:00    | 医療メディエーター養成研修<br>会基礎編<br>日本産婦人科医会性教育指導<br>セミナー全国大会<br>地域包括加算・地域包括診療料に係<br>るかかりつけ医研修会(日医TV会議)<br>日本プライマリ・ケア連合学<br>会九州支部役員会 |
| 14  | 金 | 14:00                                                                                           | (日医)日医勤務医委員会                                                                                                                                                                                                       | 31 | 月 |                                  |                                                                                                                           |
| 15  | 土 | 14:00                                                                                           | 人体シミュレータを用いた在宅医<br>療研修会                                                                                                                                                                                            |    |   |                                  |                                                                                                                           |
| 16  | 日 | 10:00                                                                                           | レジナビフェアin東京                                                                                                                                                                                                        |    |   |                                  |                                                                                                                           |
| 17  | 月 |                                                                                                 | (海の日)                                                                                                                                                                                                              |    |   |                                  |                                                                                                                           |

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 6 月 27 日

| 8 月                                                |   |                                                                                                  |                                                                                                   |
|----------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1                                                  | 火 | 18:00 治験審査委員会<br>19:00 第12回常任理事協議会                                                               | 16 水                                                                                              |
| 2                                                  | 水 | 13:30 (日医)都道府県医師会生活習慣病<br>担当理事連絡協議会                                                              | 17 木 19:00 勤務医委員会                                                                                 |
| 3                                                  | 木 | 19:30 県産婦人科医会全理事会                                                                                | 18 金 18:30 県外科医会夏期講演会                                                                             |
| 4                                                  | 金 |                                                                                                  | 19 土 九州地区医師国保組合連合会<br>全体協議会<br>14:10 中四九地区医師会看護学校協<br>議会<br>14:30 産業医研修会(前期)<br>15:00 学校医部会総会・医学会 |
| 5                                                  | 土 | 13:00 県産婦人科医会新生児蘇生法講<br>習会<br>16:00 九医連常任委員会<br>17:00 九州学校検診協議会幹事会<br>18:00 九州各県学校保健担当理事者会       | 20 日 8:50 中四九地区医師会看護学校協<br>議会                                                                     |
| 6                                                  | 日 | 9:00 九州学校検診協議会<br>11:30 九医連学校医会評議員会<br>13:00 九州ブロック学校保健・学校医<br>大会<br>14:00 宮崎から医師をめざそう！フォー<br>ラム | 21 月                                                                                              |
| 7                                                  | 月 |                                                                                                  | 22 火 19:00 第15回常任理事協議会                                                                            |
| 8                                                  | 火 | 19:00 第13回常任理事協議会                                                                                | 23 水                                                                                              |
| 9                                                  | 水 | 16:00 支払基金幹事会                                                                                    | 24 木                                                                                              |
| 10                                                 | 木 |                                                                                                  | 25 金 19:00 広報委員会<br>19:00 認知症サポート医フォロー<br>アップ研修会(TV会議)                                            |
| 11                                                 | 金 | (山の日)                                                                                            | 26 土 九医連常任委員会<br>九医連定例委員総会                                                                        |
| 12                                                 | 土 | 13:30 県プライマリ・ケア研究会世<br>話人会・総会・研修会                                                                | 27 日                                                                                              |
| 13                                                 | 日 |                                                                                                  | 28 月 19:00 損保ジャパン日本興亜との懇<br>談会                                                                    |
| 14                                                 | 月 |                                                                                                  | 29 火 19:00 第5回全理事協議会                                                                              |
| 15                                                 | 火 | 19:00 第14回常任理事協議会                                                                                | 30 水 14:00 (日医)日医学術推進会議<br>15:00 労災診療指導委員会                                                        |
| ※都合により、変更になることがあります。<br>行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。 |   |                                                                                                  |                                                                                                   |
|                                                    |   |                                                                                                  | 31 木 15:00 (日医)日医医療情報システム協議<br>会運営委員会                                                             |

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日 本 医 師 会 生 涯 教 育 講 座 認 定 学 会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                                                                      | 演 題                                                                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第3回宮崎がんの<br/>リハビリテーション<br/>研修会</b><br>7月1日(土)<br>9:00～17:50<br>7月2日(日)<br>9:00～17:00<br>県立宮崎病院<br>参加費：100,000円<br>(1施設あたり) | (1日目 9:00～11:40)<br><b>がんのリハビリテーションの概要・問題点</b><br>日南市立中部病院リハビリテーション科<br>鈴木 幹次郎                                              | 9<br>(2.5)                     | ◇主催<br>宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会<br>◇後援<br>宮崎県<br>宮崎県医師会<br>宮崎県歯科医師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県理学療法士会<br>宮崎県作業療法士会<br>宮崎県言語聴覚士会<br>(連絡先)<br>宮崎がんのリハビリテーション<br>研修会実行委員会事務局<br>(日南市立中部病院)<br>☎0987-27-1182 |
|                                                                                                                               | (1日目 12:30～14:00)<br><b>周術期リハビリテーション－患者評価のポイントと<br/>リハビリテーションの実際－(脳腫瘍含む)</b><br>宮崎市立田野病院<br>黒木 洋美<br>宮崎善仁会病院理学療法士<br>吉田 裕一郎 | 45<br>(1.5)                    |                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                                               | (1日目 14:10～15:10)<br><b>歩行・基本動作障害・ADL・IADL障害に対する対応</b><br>日南市立中部病院理学療法士<br>前田 篤志<br>宮崎県立宮崎病院作業療法士<br>津輪元 修一                 | 19<br>(0.5)<br><br>62<br>(0.5) |                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                                               | (1日目 15:20～16:20)<br><b>進行がん患者に対するリハビリテーション・アプローチ</b><br>聖隷三方原病院<br>内藤 明美                                                   | 81<br>(1.0)                    |                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                                               | (2日目 9:00～10:00)<br><b>心のケアとリハビリテーション</b><br>宮崎大学医学部附属病院精神科<br>船橋 英樹                                                        | 69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) |                                                                                                                                                                                              |

| 名称・日時・場所                                                                                                                      | 演 題                                                                                                            | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第3回宮崎がんの<br/>リハビリテーショ<br/>ン研修会</b><br>7月1日(土)<br>9:00～17:50<br>7月2日(日)<br>9:00～17:00<br>県立宮崎病院<br>参加費:100,000円<br>(1施設あたり) | (2日目 10:10～11:20)<br><b>化学療法・放射線療法の副作用とリスク管理, 骨転移<br/>患者への対応</b><br>宮崎市立田野病院 黒木 洋美<br>古賀総合病院理学療法士 黒木 昭仁        | 18<br>(0.5)<br>24<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎がんのリハビリテー<br>ション研修会実行委員会<br>◇後援<br>宮崎県<br>宮崎県医師会<br>宮崎県歯科医師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県理学療法士会<br>宮崎県作業療法士会<br>宮崎県言語聴覚士会<br>(連絡先)<br>宮崎がんのリハビリテーショ<br>ン研修会実行委員会事務局<br>(日南市立中部病院)<br>☎0987-27-1182 |
|                                                                                                                               | (2日目 11:30～12:40)<br><b>がん患者の摂食・嚥下障害, コミュニケーション障害,<br/>口腔ケア</b><br>日南市立中部病院言語聴覚士 横山 茂幹<br>宮崎県立延岡病院歯科口腔外科 高森 晃一 | 34<br>(0.5)<br>47<br>(0.5) |                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                                                               | (2日目 13:30～14:10)<br><b>リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討<br/>含む)</b><br>訪問看護ステーションなでしこ3号館<br>中村 久美                     | 10<br>(0.5)                |                                                                                                                                                                                                  |
| <b>西諸医師会・西諸<br/>内科医会合同学術<br/>講演会</b><br>7月3日(月)<br>19:00～20:30<br>ガーデンベルズ<br>小林                                               | <b>てんかんの診断と治療</b><br>藤元総合病院脳神経外科 大坪 俊昭                                                                         | 12<br>(1.0)<br>33<br>(0.5) | ◇主催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>◇共催<br>西諸内科医会<br>第一三共(株)                                                                                                                                       |
| <b>第117回宮崎市郡<br/>医師会病院心臓病<br/>研究会</b><br>7月4日(火)<br>18:45～20:30<br>宮崎観光ホテル                                                    | <b>心不全治療における利尿薬の位置づけを再考する</b><br>鳥取大学医学部総合内科医学講座<br>病態情報内科学分野教授 山本 一博                                          | 15<br>(1.0)                | ◇主催<br>宮崎市郡医師会心臓病研究会<br>◇共催<br>大塚製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119                                                                                                                    |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん機                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第35回国立病院機構宮崎病院医療セミナー</b><br>7月6日(木)<br>19:00～20:00<br>ブライダルホール<br>竹乃屋 | <b>急増する非結核性抗酸菌症について</b><br>九州保健福祉大学薬学部教授 佐藤 圭創                          | 18<br>(0.5)<br>46<br>(0.5)                               | ◇主催<br>国立病院機構宮崎病院<br>◇後援<br>※児湯医師会<br>☎0983-22-1641<br>児湯内科医会                                    |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>7月6日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                   | <b>メンタルヘルス不調の労働者の事例検討</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                         |
| <b>日向市東臼杵郡医師会学術講演会</b><br>7月6日(木)<br>19:00～21:30<br>ホテルベルフオー<br>ト日向      | <b>腎合併症予防に向けた最新の糖尿病治療<br/>ー慢性腎臓病の基礎知識ー</b><br>県立延岡病院腎臓内科医長 戸井田 達典       | 73<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)                               | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>田辺三菱製薬(株)<br>第一三共(株) |
| <b>平成29年度心臓検診二次検討会(後期)</b><br>7月7日(金)<br>19:00～21:00<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館  | <b>症例検討会</b><br>なかむら内科循環器内科院長 中村 剛之                                     | 11<br>(0.5)<br>33<br>(0.5)<br>43<br>(0.5)<br>44<br>(0.5) | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222                                    |

| 名称・日時・場所                                                                                             | 演 題                                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| <b>第42回消化器疾患<br/>セミナー・宮崎木<br/>曜会夏季セミナー</b><br>7月8日(土)<br>14:45～19:00<br>MRT-micc<br><br>参加費:5,000円   | <b>胃内視鏡検診の現状と課題ーリスク層別化を含めてー</b><br>新潟県立がんセンター<br>新潟病院内科臨床部長 成澤 林太郎                        | 11<br>(0.5)<br><br>50<br>(0.5)<br><br>(胃) | ◇主催<br>宮崎木曜会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>※アストラゼネカ(株)<br>☎092-283-8150     |
|                                                                                                      | <b>GERD 診療up to dateーNERD からBarrett 食道癌までー</b><br>東北大学病院<br>消化器内視鏡センター長・消化器内科准教授<br>小池 智幸 | 21<br>(0.5)<br><br>52<br>(0.5)            |                                                                    |
|                                                                                                      | <b>失敗しない大腸癌の内視鏡診断と治療</b><br>国立がん研究センター<br>中央病院内視鏡センター長・内視鏡科長<br>斎藤 豊                      | 7<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5)<br><br>(大腸) |                                                                    |
| <b>平成29年度宮崎県<br/>外科医会・宮崎県<br/>整形外科医会・宮<br/>崎県医師会労災部<br/>会合同学会</b><br>7月8日(土)<br>17:00～18:00<br>県医師会館 | <b>労災・自賠責保険制度の現状と課題について</b><br>日本医師会副会長 松原 謙二                                             | 6<br>(1.0)                                | ◇主催<br>※宮崎県医師会労災部会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県外科医会<br>宮崎県整形外科医会 |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <b>第80回宮崎大学眼科研究会</b><br>7月8日(土)<br>17:00～19:00<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費: 2,000円 | <b>先天色覚異常の小児に対する検査と指導</b><br>東京女子医科大学眼科非常勤講師 中村 かおる                        | 15<br>(0.5)<br><br>36<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>※宮崎大学医学部眼科学教室<br>☎0985-85-2806<br>◇共催<br>千寿製薬(株)                    |
|                                                                              | <b>閉塞隅角の意味と意義</b><br>琉球大学医学研究科眼科学准教授 酒井 寛                                  | 15<br>(0.5)<br><br>36<br>(0.5)                                      |                                                                            |
| <b>第70回都城心臓血管懇話会</b><br>7月11日(火)<br>19:00～20:45<br>都城ロイヤルホテル                 | <b>肺高血圧治療の現状</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>循環体液制御学分野助教 鬼塚 久充                      | 13<br>(0.5)<br><br>33<br>(0.5)<br><br>45<br>(0.5)                   | ◇主催<br>都城心臓血管懇話会<br>◇共催<br>日本新薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>7月12日(水)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                      | <b>ストレスに如何に対処するか</b><br>産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授<br>鶴 紀子<br><br>生涯研修の専門研修会: 2単位 | 1<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                   |

| 名称・日時・場所                                                                                         | 演 題                                                                                                                   | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| <b>西都市西児湯内科<br/>医学会学術講演会</b><br>7月13日(木)<br>19:00～20:40<br>ホテルプリムローズ西都                           | <b>抗血栓療法による消化管障害とその対策</b><br><b>－PPI・DOACの役割は？－</b><br>宮崎医療センター消化器病センター医長<br><span style="float: right;">駒田 直人</span> | 50<br>(0.5)                    | ◇主催<br>西都市西児湯内科医会<br>◇共催<br>※西都市西児湯医師会<br>☎0983-43-1687<br>第一三共(株) |
|                                                                                                  | <b>抗血栓薬内服と脳内出血</b><br>宮崎大学医学部臨床神経科学講座<br>脳神経外科学分野講師<br><span style="float: right;">大田 元</span>                        | 12<br>(0.5)<br><br>78<br>(0.5) |                                                                    |
| <b>第112回 江南医療<br/>連携の会症例検<br/>討会</b><br>7月13日(木)<br>19:00～20:45<br>宮崎江南病院                        | <b>中高年者に対する鏡視下半月板処置術の治療成績</b><br>宮崎江南病院整形外科<br><span style="float: right;">吉川 大輔</span>                               | 61<br>(0.5)                    | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院地域医療連携室<br>☎0985-52-4004         |
|                                                                                                  | <b>最近の胃手術症例について</b><br>宮崎江南病院外科<br><span style="float: right;">米盛 圭一</span>                                           | 51<br>(0.5)                    |                                                                    |
|                                                                                                  | <b>当科におけるドクターヘリ受け入れの現状と課題</b><br>宮崎江南病院形成外科<br><span style="float: right;">土居 華子</span>                               | 12<br>(0.5)                    |                                                                    |
| <b>かかりつけ医と精<br/>神科医－Medical<br/>Collaboration<br/>Forum－</b><br>7月14日(金)<br>18:50～20:45<br>KITEN | <b>不眠症治療におけるスポレキサントへの期待</b><br>県立宮崎病院精神医療センター医長<br><span style="float: right;">直野 久雄</span>                           | 70<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>宮崎県精神科医会<br>※MSD(株)<br>☎0985-28-9496      |
|                                                                                                  | <b>内科医から見た不眠症治療</b><br>潤和会記念病院名誉院長<br><span style="float: right;">鶴田 和仁</span>                                        | 20<br>(0.5)                    |                                                                    |
|                                                                                                  | <b>かかりつけ医と精神科医の連携強化のために</b><br>宮崎大学医学部臨床神経科学講座<br>精神医学分野教授<br><span style="float: right;">石田 康</span>                 | 73<br>(0.5)                    |                                                                    |

| 名称・日時・場所                                                                           | 演 題                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>佐土原地区医師会<br/>学術講演会</b><br>7月14日(金)<br>19:00～20:10<br>シーガイアコンベンションセンター           | <b>認知症の人と家族に今できること</b><br>大分大学総合内科・総合診療科医局長<br>吉岩 あおい                | 29<br>(1.0)        | ◇主催<br>佐土原地区医師会<br>◇共催<br>※小野薬品工業(株)<br>☎0985-61-8123                                         |
| <b>宮崎市郡医師会 7<br/>月例会並びに特別<br/>講演会</b><br>7月14日(金)<br>19:00～21:30<br>宮崎観光ホテル        | <b>介護の視点から見る地域包括ケアに向けた医介連携</b><br>(株)日本経営<br>村木 茂満                   | 13<br>(0.5)        | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434<br>◇共催<br>(株)宮崎銀行                                            |
| <b>第21回宮崎甲状腺<br/>疾患研究会</b><br>7月14日(金)<br>19:30～21:30<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費:1,000円 | <b>副甲状腺機能亢進症:<br/>診断のポイントと治療のメリット</b><br>隈病院副院長<br>宮 章博              | 15<br>(1.0)        | ◇主催<br>宮崎甲状腺疾患研究会<br>◇共催<br>※あすか製薬(株)<br>☎092-781-6551                                        |
| <b>第21回児湯内科医<br/>学会学術講演会</b><br>7月18日(火)<br>19:15～20:15<br>ホテル四季亭                  | <b>2型糖尿病に対する新しいCombination Therapy</b><br>潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長<br>水田 雅也 | 76<br>(1.0)        | ◇主催<br>児湯内科医会<br>◇共催<br>日本ペーリンガーインゲルハイム(株)<br>日本イーライリリー(株)<br>(連絡先)<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641 |

| 名称・日時・場所                                                     | 演 題                                                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                 |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月20日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館         | まだ化学物質リスクアセスメントをやっていない事業<br>所のための化学物質リスクアセスメントのやり方<br>産業保健相談員<br>西部労働衛生コンサルタント事務所 矢崎 武<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br><br>7<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                              |
| 第209回 宮 崎 県 泌<br>尿器科医会<br>7月20日(木)<br>19:00～20:40<br>宮崎観光ホテル | 宮崎大学におけるゾーフィゴの使用経験<br>宮崎大学医学部泌尿器科助教 藤井 将人<br><br>去勢抵抗性前立腺癌の骨転移マネジメント<br>東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科教授<br>鈴木 啓悦        | 9<br>(0.5)<br><br>10<br>(1.0)                                     | ◇主催<br>※宮崎県泌尿器科医会<br>(宮崎大学医学部泌尿器科内)<br>☎0985-85-2968<br>◇共催<br>バイエル薬品(株)              |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月21日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館         | 注意すべき精神障害の鑑別診断(Ⅰ)<br>産業保健相談員・西都病院 植田 勇人<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                | 1<br>(2.0)                                                        | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                              |
| 延岡医学会学術講<br>演会<br>7月21日(金)<br>19:00～20:00<br>ホテルメリージュ<br>延岡  | 高齢者糖尿病診療の課題－認知症，サルコペニア，<br>ポリファーマシーの問題とWeekly 製剤への期待－<br>大阪警察病院糖尿病・内分泌内科部長<br>安田 哲行                          | 73<br>(0.5)<br><br>76<br>(0.5)                                    | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>武田薬品工業(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |

| 名称・日時・場所                                                                                          | 演 題                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------|
| <b>第67回神奈川胎児<br/>エコー研究会ス<br/>ペシャル講座</b><br>7月23日(日)<br>9:30～17:30<br>渡辺病院<br>野田医院<br>参加費: 12,000円 | <b>肺のう胞性疾患: 産科の立場から</b><br>国立成育医療研究センター<br>周産期・母性診療センター胎児診療科<br>杉林 里佳      | 71<br>(0.5)        | ◇主催<br>※神奈川胎児エコー研究会<br>☎03-5229-6881 |
|                                                                                                   | <b>肺のう胞性疾患: 放射線科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター放射線科<br>野澤 久美子                  | 71<br>(0.5)        |                                      |
|                                                                                                   | <b>先天性横隔膜ヘルニア: 産科の立場から</b><br>国立成育医療研究センター<br>周産期・母性診療センター胎児診療科医長<br>和田 誠司 | 71<br>(0.5)        |                                      |
|                                                                                                   | <b>先天性横隔膜ヘルニア: 小児外科の立場から</b><br>大阪府立母子保健総合医療センター<br>小児外科主任部長<br>臼井 規朗      | 71<br>(0.5)        |                                      |
|                                                                                                   | <b>胸水, 胎児水腫: 産科の立場から</b><br>横浜市立大学医学研究科遺伝学教室<br>板井 俊幸                      | 71<br>(0.5)        |                                      |
|                                                                                                   | <b>胸水, 胎児水腫: 新生児科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター新生児科<br>柴崎 淳                   | 71<br>(0.5)        |                                      |
|                                                                                                   | <b>消化管閉鎖: 産科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター産婦人科<br>近藤 真哉                       | 71<br>(0.5)        |                                      |

| 名称・日時・場所                                                                                              | 演 題                                                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| <b>第67回神奈川胎児<br/>エコー研究会スペ<br/>シャル講座</b><br>7月23日(日)<br>9:30～17:30<br>渡辺病院<br>野田医院<br><br>参加費: 12,000円 | <b>消化管閉鎖: 小児外科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター外科 白井 秀仁                                                    | 71<br>(0.5)                    | ◇主催<br>※神奈川胎児エコー研究会<br>☎03-5229-6881                                      |
|                                                                                                       | <b>腹部腫瘍: 産科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター産婦人科部長<br>石川 浩史                                                | 71<br>(0.5)                    |                                                                           |
|                                                                                                       | <b>腹部腫瘍: 小児外科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター<br>小児がんセンター外科部門長 北河 徳彦                                      | 71<br>(0.5)                    |                                                                           |
|                                                                                                       | <b>腹壁異常: 産科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター産婦人科<br>長瀬 寛美                                                  | 71<br>(0.5)                    |                                                                           |
|                                                                                                       | <b>腹壁異常: 外科の立場から</b><br>神奈川県立こども医療センター外科医長<br>望月 響子                                                  | 71<br>(0.5)                    |                                                                           |
| <b>第10回脂質異常症<br/>と動脈硬化の治療<br/>を考える会</b><br>7月25日(火)<br>19:10～20:50<br>宮崎観光ホテル                         | <b>糖尿病合併脂質異常症患者の現状と治療</b><br><b>ー当院における脂質マネジメントを含めてー(仮)</b><br>古賀総合病院内科医長 土持 若葉                      | 73<br>(0.5)                    | ◇主催<br>脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会<br>◇共催<br>MSD(株)<br>※バイエル薬品(株)<br>☎0985-60-2532 |
|                                                                                                       | <b>日本人の冠動脈疾患における積極的脂質低下療法の意義</b><br><b>ーHIJ-PROPER試験の結果からー</b><br>東京女子医科大学医学部<br>循環器内科学教授・講座主任 萩原 誠久 | 23<br>(0.5)<br><br>75<br>(0.5) |                                                                           |

| 名称・日時・場所                                                                                                 | 演 題                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>7月27日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                                             | <b>メンタルヘルス—ラインケアこんな時どうする—</b><br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(2.0)                     | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |
| <b>学術講演会—便秘<br/>治療を考える—</b><br>7月27日(木)<br>19:00～20:10<br>MRT-micc                                       | <b>便秘治療UPTODATE(仮)</b><br>大分大学医学部消化器内科学講座教授 村上 和成                           | 12<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>宮崎県精神科医会<br>宮崎県外科医会<br>※アステラス製薬(株)<br>☎0985-61-1537 |
| <b>平成29年度地域包<br/>括診療加算・地域<br/>包括診療料に係る<br/>かかりつけ医研修<br/>会(日医TV会議)</b><br>7月30日(日)<br>9:55～17:30<br>県医師会館 | <b>脂質異常症</b><br>江草玄士クリニック院長 江草 玄士                                           | 75<br>(1.0)                    | ◇主催<br>日本医師会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                             |
|                                                                                                          | <b>糖尿病</b><br>菅原医院長 菅原 正弘                                                   | 76<br>(1.0)                    |                                                                              |
|                                                                                                          | <b>高血圧症</b><br>和歌山県立医科大学名誉教授 有田 幹雄                                          | 74<br>(1.0)                    |                                                                              |
|                                                                                                          | <b>認知症</b><br>ゆう心と体のクリニック院長 瀬戸 裕司                                           | 29<br>(1.0)                    |                                                                              |
|                                                                                                          | <b>禁煙指導</b><br>日本医師会常任理事 羽鳥 裕                                               | 11<br>(0.5)                    |                                                                              |
|                                                                                                          | <b>健康相談</b><br>つくし会理事長 新田 國夫                                                | 4<br>(0.5)                     |                                                                              |

| 名称・日時・場所                                                                                                 | 演 題                                                                               | CC<br>(単位)<br>がん機              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>平成29年度地域包<br/>括診療加算・地域<br/>包括診療料に係る<br/>かかりつけ医研修<br/>会(日医TV会議)</b><br>7月30日(日)<br>9:55～17:30<br>県医師会館 | <b>在宅医療</b><br>アスミス理事長<br>太田 秀樹                                                   | 80<br>(0.5)                    | ◇主催<br>日本医師会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118         |
|                                                                                                          | <b>介護保険</b><br>池端病院理事長・院長<br>池端 幸彦                                                | 13<br>(0.5)                    |                                                          |
|                                                                                                          | <b>服薬管理</b><br>白髭内科医院長<br>白髭 豊                                                    | 73<br>(0.5)                    |                                                          |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月3日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                                              | <b>長時間労働者の面接指導</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位           | 1<br>(0.5)                     | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
|                                                                                                          |                                                                                   | 5<br>(0.5)                     |                                                          |
|                                                                                                          |                                                                                   | 11<br>(0.5)                    |                                                          |
|                                                                                                          |                                                                                   | 12<br>(0.5)                    |                                                          |
| <b>第28回宮崎リウマ<br/>チ医の会</b><br>8月5日(土)<br>15:00～18:10<br>MRT-micc<br><br>参加費：1,000 円                       | <b>メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の基礎と臨床</b><br>埼玉医科大学総合医療センター血液内科教授<br>得平 道英                  | 19<br>(0.5)<br><br>22<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎リウマチ医の会<br>◇共催<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736  |
|                                                                                                          | <b>薬物療法の進歩の速さに負けない、リウマチ関節外科<br/>治療の進歩のために考えること</b><br>大阪南医療センター免疫疾患センター部長<br>橋本 淳 | 25<br>(0.5)<br><br>28<br>(0.5) |                                                          |

| 名称・日時・場所                                                                       | 演 題                                                                                                                                                    | CC<br>(単位)<br>がん検診                                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第28回宮崎リウマチ医の会</b><br>8月5日(土)<br>15:00～18:10<br>MRT-micc<br><br>参加費: 1,000 円 | <b>自己炎症症候群とリウマチ・膠原病疾患との接点</b><br>久留米大学医学部呼吸器・神経・膠原病内科教授<br>井田 弘明                                                                                       | 61<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5)                                   | ◇主催<br>宮崎リウマチ医の会<br>◇共催<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736                        |
| <b>宮崎ロコモフォーラムー健康寿命の延伸を目指してー</b><br>8月7日(月)<br>19:00～20:10<br>MRT-micc          | <b>ロコモを取り巻く環境</b><br><b>ーロコモ・サルコペニア・フレイルと疼痛ー</b><br>宮崎大学医学部整形外科教授<br>帖佐 悦男                                                                             | 10<br>(0.5)<br><br>62<br>(0.5)                                   | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031<br>アステラス製薬(株) |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>8月9日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                         | <b>事例でみる職場巡視のポイント</b><br>産業保健相談員<br>谷山 ゆかり<br><br>生涯研修の専門研修会: 2単位                                                                                      | 1<br>(2.0)                                                       | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                       |
| <b>宮崎県C型肝炎セミナー</b><br>8月17日(木)<br>19:00～20:45<br>ホテルJALシティ<br>宮崎               | <b>当院における慢性肝疾患治療の現状から今後を考える</b><br>宮崎医療センター病院<br>消化器内科消化器・肝臓病センター長<br>宇都 浩文<br><br><hr/> <b>C型肝炎の完全治癒を目指して</b><br>久留米大学医学部内科学講座<br>消化器内科部門准教授<br>井出 達也 | 1<br>(0.5)<br><br><br><br><br><br>19<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※ギリアド・サイエンシズ(株)<br>☎070-2162-5866                     |

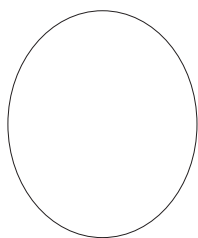
| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                           |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月19日(土)<br>14:30～18:30<br>県医師会館    | <b>産業医活動の実際について</b><br>宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治<br>基礎研修の前期研修会：2単位                                    | 1<br>(0.5)<br>4<br>(0.5)<br>10<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                 |
|                                                                 | <b>健康管理について</b><br>西都病院 植田 勇人<br>基礎研修の前期研修会：2単位                                              | 0<br>(0.5)<br>2<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>70<br>(0.5)    |                                                                                 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月22日(火)<br>14:30～16:30<br>県医師会館    | <b>作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2単位              | 11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)<br>37<br>(0.5)<br>60<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                        |
| <b>宮崎市郡内科医会<br/>学術講演会</b><br>8月22日(火)<br>19:10～20:10<br>宮崎観光ホテル | <b>難治性呼吸器疾患の診断と治療</b><br><b>ー特発性肺線維症とCOPDを中心としてー</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 松元 信弘 | 45<br>(0.5)<br>46<br>(0.5)                               | ◇主催<br>宮崎市郡内科医会<br>◇共催<br>日本ベーリンガーインゲルハイム㈱<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434 |

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月24日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                | <b>メンタルヘルスー事例検討会ー</b><br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                            | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                |
| <b>宮崎県臨床整形外科医会学術講演会</b><br>8月25日(金)<br>19:15～20:30<br>宮崎観光ホテル<br>参加費：1,000円 | <b>痛みに対する実践的薬物治療戦略</b><br>東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部准教授 住谷 昌彦                                                      | 60<br>(0.5)<br>61<br>(0.5)                               | ◇主催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>◇共催<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031                 |
| <b>第20回宮崎神経眼科セミナー</b><br>9月2日(土)<br>18:00～21:00<br>KITEN<br>参加費：2,000円      | <b>視力の計算のしかた</b><br>愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座教授 柏井 聡<br>.....<br><b>視覚の基本メカニズム</b><br>愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座教授 柏井 聡 | 12<br>(0.5)<br>15<br>(0.5)<br>19<br>(0.5)<br>36<br>(1.0) | ◇主催<br>宮崎神経眼科ネットワーク<br>◇共催<br>参天製薬(株)<br>(連絡先)<br>尾崎眼科<br>☎0982-52-5600 |

| 名称・日時・場所                                                            | 演 題                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                    |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>9 月 7 日(木)<br>14 : 30 ～16 : 30<br>県医師会館 | <b>企業における受動喫煙防止対策</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2 単位 | 9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>9 月16日(土)<br>14 : 30 ～17 : 30<br>県医師会館  | <b>健康保持増進のススメ</b><br>宮崎大学安全衛生保健センター教授<br>武田 龍一郎<br>基礎研修の前期研修会：3 単位      | 11<br>(0.5)<br>82<br>(0.5)                              | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                          |
|                                                                     | <b>作業環境管理について</b><br>宮崎大学医学部附属病院患者支援センター長<br>鈴木 斎王                      | 0<br>(0.5)<br>1<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)   |                                                          |

| 名称・日時・場所                                                               | 演 題                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                    |
|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>9月20日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館           | <b>有害物のリスクアセスメントについて</b><br>産業保健相談員・労働衛生コンサルタント<br>下津 義博<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>9月26日(火)<br>19:00～21:00<br>延岡市医師会病院        | <b>有害物のリスクアセスメントについて</b><br>産業保健相談員・労働衛生コンサルタント<br>下津 義博<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>9月29日(金)<br>19:00～21:00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館 | <b>職場における糖尿病対策</b><br>産業保健相談員・都城市郡医師会病院副院長<br>中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会：2単位     | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |

## 診療メモ

胆膵疾患に対する超音波内視鏡診断・治療：  
現状と新展開宮崎大学医学部医学科消化器内科学講座 教授 かわ 上 ひろし  
河 上 洋

消化器疾患に対する断層診断法である超音波内視鏡(endoscopic ultrasound: EUS)の発展は目覚ましい。1980年代にラジアル式、リニア式のEUSが各々開発され、現在までに35年以上が経過した。

EUSは当初、膵・胆道疾患の小病変の診断目的に開発されたが、現在は消化管病変に対しても幅広く臨床応用されている。EUSの走査方法はラジアル式、リニア式、コンベックス式がある。ラジアル式はスコープの長軸360度の断層像が得られる。一方、リニア、コンベックス式はスコープの長軸を通る面の断層像が得られ、専用穿刺針により穿刺可能となっている。

1989年にはラジアル式の細径高周波超音波プローブも開発された。EUSの弱点であった狭窄部への挿入や胆・膵管や気管支といった細い管腔内への挿入が可能となった。現在、消化管腫瘍に対して表層性病変や小病変の深達度診断とともに胆・膵管内への精査が行われている。

ラジアルおよびコンベックス式EUSは2002年より電子走査式へと移行し、カラー・パワードプラ診断のみならず、体外式超音波検査で長足の進歩をみせているハーモニックイメージングなどの機能を用いることも可能となった。また、カラー・パワードプライメージで間欠送信することによる造影EUSによる診断も臨床応用されている。さらに、組織弾性の相違から組織診断を試みるエラストグラフィも開発され、

日常診療で用いられている。これまで、胆膵疾患に対しては内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)を中心とした診療が行われていた。特に、膵疾患に対してはERCPによる正診率の低さとERCP後膵炎の問題により、現在では、より非侵襲的なEUSによる画像診断が重要視されている。現在、EUSは専門診療では欠かせない診断方法となっている。

1992年、コンベックス型EUSによりEUSガイド下穿刺吸引生検(EUS-guided fine-needle aspiration: EUS-FNA)が膵腫瘍に対して報告された。EUS-FNAは従来の画像診断による推定診断から組織診断に基づいた治療を可能とした。これまで組織診断よりも画像診断を重視していた本邦においても2010年4月に保険適応となった。以降、その汎用性に弾みがつき、導入施設の増加とともに、急速に普及している。

EUS-FNAはその関連手技も発展している。これまで外科的介入を必要としていた幅広い疾患に対して、低侵襲的治療手技として行われるようになっていく。1992年には膵仮性嚢胞に対して、1996年には感染性膵壊死に対して経消化管的ドレナージ術が報告された。さらに2001年には胆道(胆管・胆嚢)や膵管に対する経消化管的ドレナージ術を行う新たな手技が報告されるようになった。本法は十二指腸閉塞や腹水貯留例、術後再建腸管例などERCPや小腸鏡

によるアプローチや経皮経肝的アプローチが困難な場合に対して有用である(図1)。また、局注療法も行われるようになり、1996年には腹腔神経叢に対して、2008年には腹腔神経節に対するブロック術が報告され、癌性疼痛に対する治療法として行われている。現状では麻酔科の先生方による腹腔神経叢ブロックが背側すなわち後方アプローチとして行われていることが多いと思われるが、EUSによるアプローチは前方からより低侵襲的で施行可能であり、腹腔神経叢のみならず腹腔神経節に対してリアルタイムに観察しながら安全に反復して施行可能である。現在、附属病院では超音波内視鏡ガイド下膵仮性嚢胞ドレナージ、感染性膵壊死ドレナージ、胆道ドレナージ術に加えて、腹腔神経叢・神経節ブロック術も積極的に施行している。適応症例をご紹介いただければ幸いである。

また、本邦では行われていないが、2005年には膵嚢胞性疾患に対して、2006年にはインスリンノーマに対してEUSガイド下のエタノール注入療法が報告された。2012年には膵癌に対するEUSガイド下のラジオ波焼灼療法も報告されるようになった。今後は遺伝子治療や免疫療法を始めとするEUSガイド下局所療法の応用が期待されている。

EUSは画像診断法の中心となっており、膵癌の早期診断に欠かせない。また、数多くのEUS-FNA関連の治療手技が行われるようになっている。今後は更なる発展が期待される。

しかし、現時点では試験段階にある手技も多い。術者の育成の他、将来的には手技の改良や専用処置具の開発も求められる。新たな手技に対しては引き続き、その有用性、安全性を慎重に評価していく必要がある。

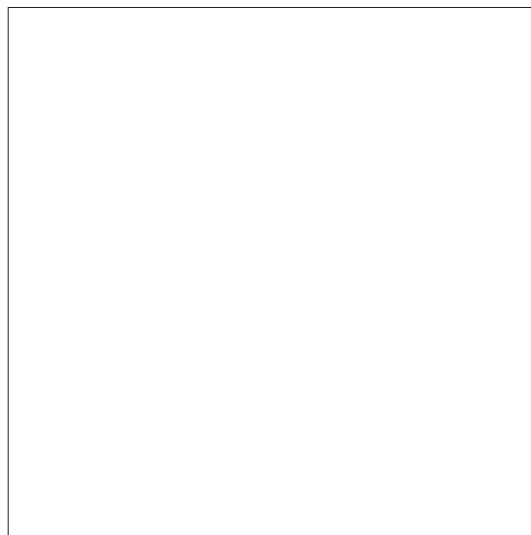


図1

切除不能進行胃癌，十二指腸閉塞，癌性腹膜炎，閉塞性黄疸例。肝表面に腹水貯留がみられ，経皮経肝的胆道ドレナージ術は困難であった。

EUSガイド下胆道ドレナージ術の適応であり，胃体上部後壁より肝左葉の肝内胆管を穿刺後，左肝管から肝門部領域胆管に認められていた癌浸潤に伴う閉塞部に対して金属ステントを留置した。

## 宮大医学部学生のページ

## カリフォルニア大学アーバイン校留学記

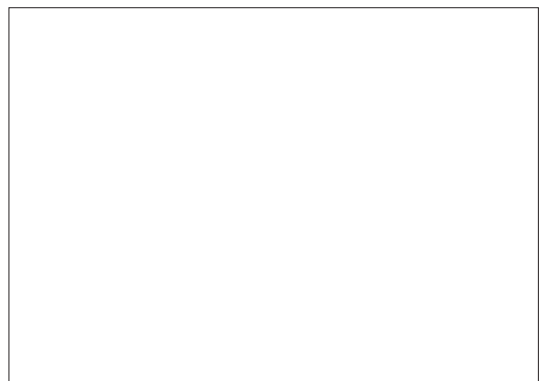
宮崎大学医学部医学科 6 年 いし だ な ほ こ  
石 田 奈 緒 子

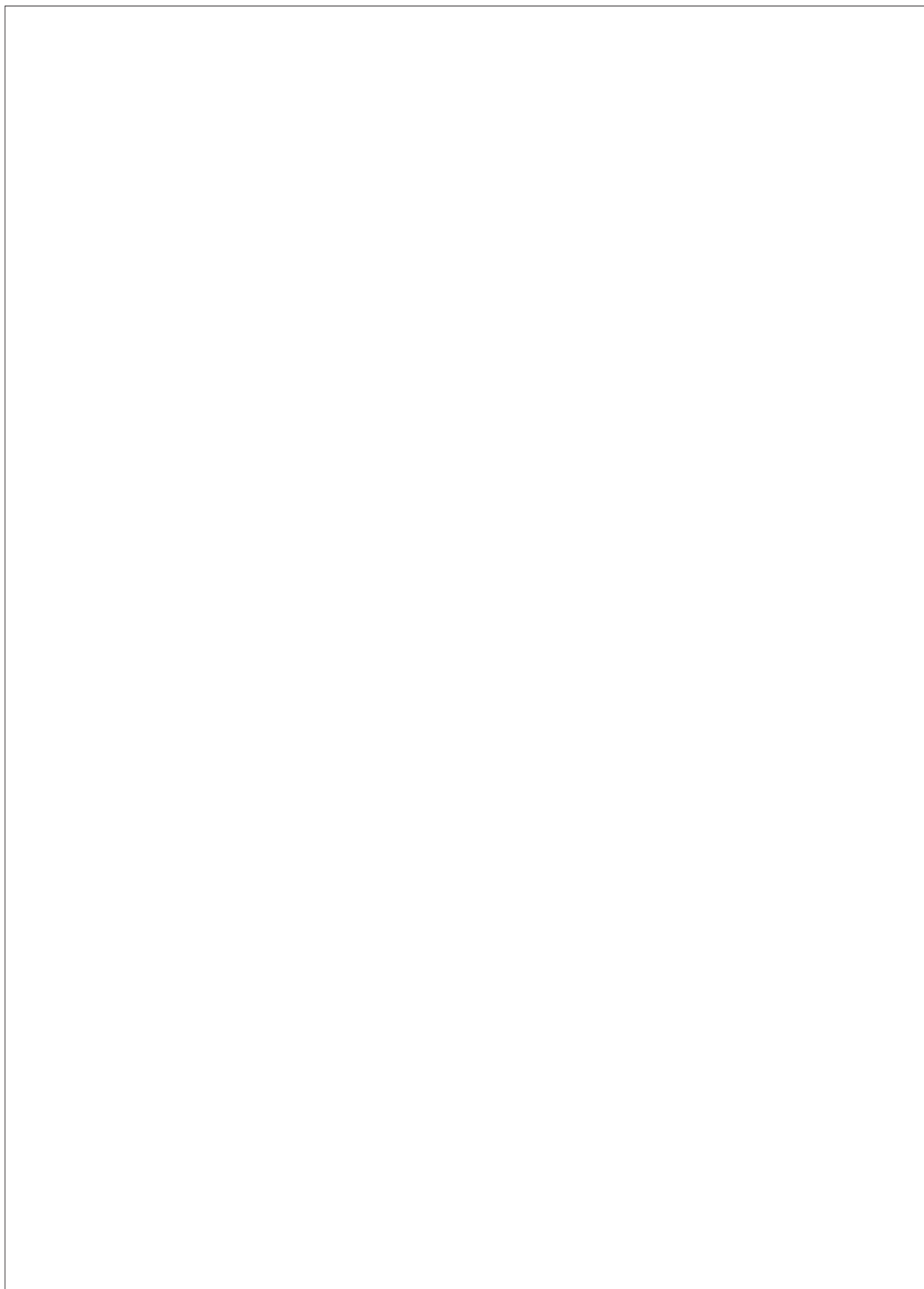
宮崎大学医学部 6 年の石田と申します。この度、海外留学希望者のための大学のプログラムの一環として、4 月にカリフォルニア大学アーバイン校(UCI)へ留学しました。そこで体験したことを医学部生のページをお借りして書かせていただきます。

私はUCIのERで 4 週間学ばせていただきました。実習では、主にwalk in患者に問診・診察、プレゼンテーション、外傷患者の治療の見学をしました。パソコンの画面上でどんな患者がどういった主訴でどこの部屋にいるのかを把握し、その部屋へ行って問診や診察をしました。その後、指導医に鑑別疾患と行いたい検査を含めて簡単にプレゼンテーションをしました。問診はポリクリ中にしたことがあるので何を聞けばいいのかある程度わかっているのですが、このようなプレゼンテーションはあまりしたことがなく、相手に数分で理解しやすいように伝えなければならない点が難しかったです。アメリカでは学生の頃から練習しているようで、私もアドバイスをいただいて練習させていただきました。これらの他にも、ルートをとったり、エコーや眼圧の測定、縫合をさせていただけたりと様々な手技をすることができました。病院実習以外に、シミュレーションセンターで腰椎穿刺やエコーガイド下の留置針挿入練習、人形を用いたERでの症例に対する対処シミュレーションなどを行いました。また、Journal clubという論文についてディスカッションする会に参加させていただき、論文を読む姿勢について学びました。

UCIの病院で実習をして一番印象に残ったことは、患者の背景が日本と異なる点です。例えば、既往歴を聞くと答えてくれましたが、保険が下りなくなるからカルテには書かないでくれと言った患者がいました。また、ERの保険に加入していないから検査せずに経過観察となった患者もいました。このように、お金がかかるからという理由で病院に来ず、重症となった患者を多く見ました。患者の服薬歴を聞くときは必ず違法薬物を使ったことがあるかを聞くこと、高速道路で時速100キロの車から飛び降りた交通外傷の患者などもアメリカでの実習だからこそ経験できたことだと思っています。

1 か月間という短い期間でしたが、毎日が充実しており、日本ではできない様々なことを経験することができました。今回の留学を通して医療や医学への姿勢の違いを知ることができ、UCIの先生方や学生の刺激を受け、将来に向けてさらに勉学に励もうと思いました。今回の留学にあたり、お世話になりました全ての皆様に感謝しております。本当にありがとうございました。





## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL0985-22-5118)。

また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

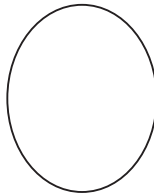
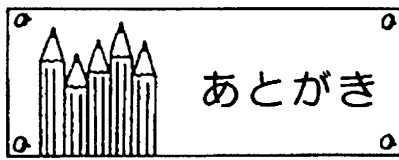
| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 12 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・平成29年度介護事業実態調査(介護事業経営実態調査)への協力依頼について</li><li>・第48回全国学校保健・学校医大会「分科会」における研究発表の演題募集について</li><li>・平成29年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」について</li><li>・「改正道路交通法の円滑な施行に向けた各都道府県警察及び関係団体等との連携について」の送付について</li><li>・がん検診に係る「事前評価のためのチェックリスト」等の一部改定について</li><li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li><li>・平成29年度訪問看護ステーション等整備費補助金について</li><li>・黄熱に関する情報提供について</li><li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li></ul> |
| 5 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・平成29年度県民一斉防災行動訓練「みやぎシェイクアウト」について</li><li>・精神科救急医療体制整備事業の実施について</li><li>・精神障害者地域生活支援広域調整等事業の実施について</li><li>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業の実施について</li><li>・難治性精神疾患地域連携体制整備事業の実施について</li><li>・肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について</li><li>・乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの安定供給に係る対応について</li></ul>                                                                                                   |
| 5 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・検査料の点数の取扱いについて</li><li>・国民生活センター「医師からの事故情報受付窓口」について</li><li>・エボロクマブ製剤(銘柄名：レパーサ皮下注140mgペン)の在宅自己注射について</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5 月 18 日 | <ul style="list-style-type: none"><li>・被爆者健康手帳の無効について</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国の病院における臨床研修の一部を認定するための手続きについて」の一部改正について</li> <li>・エボラ出血熱に係る注意喚起について</li> <li>・予防接種の間違い事例について</li> </ul>                                                                                                                                         |
| 5 月 24 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法施行細則(平成18年宮崎県規則第50号)の一部を改正する規則について</li> <li>・平成29年度木のあるおもてなし空間整備事業の募集について</li> <li>・臨床研究法の公布について</li> </ul>                                                                                                                                     |
| 5 月 25 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本准看護師連絡協議会研修会(沖縄県)について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                 |
| 5 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護保険施設等の新規指定申請時における社会保険及び労働保険の適用状況の確認について」の送付について</li> <li>・平成29年度「津波防災の日」・「世界津波の日」に係る地震・津波防災訓練等の実施について</li> <li>・防災基本計画の修正について</li> <li>・独立行政法人国民生活センター報道発表資料「なくならない脱毛施術による危害」の送付について</li> <li>・「健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診等の実施について」の一部改正について</li> </ul> |

.....

あなたできますか？(解答)

|   |   |   |   |   |   |   |           |   |    |
|---|---|---|---|---|---|---|-----------|---|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8         | 9 | 10 |
| b | b | e | c | b | c | e | a , b , d | e | c  |



少し前になりますが、名古屋から叔母さんが来たので、一緒に昼ご飯を食べました。いつもの調子でパクパク食べていると、「あんた食べるのが早い、もっとゆっくり、よくかんで食べなさいよ」と言われました。思い返してみると、働き出してからご飯をゆっくり食べるということはほとんどありませんでした。昼休みが1時間確保されているとか、夜が

ゆっくりできるということがなく、ご飯は食べられる時間にちゃちゃっと済ますのが普通でした。栄養バランスやカロリーなどにはそれなりに気を使っていたのですが、「ゆっくり、おいしく頂く」からはほど遠いものでした。仕事が多くて夜に病院で弁当を食べながらコンピュータに向かう時はよくかみます。長く手を動かすためです。往診の依頼が多い時は昼ご飯を食べずに回り始めます。夕方になると施設が夕ご飯で忙しくなるので、それまでに回り終えたいと思っていますからです。

働き始めて20数年、ワークライフバランスは乱れまくっていました。乱れるぐらい働いても、今になってもまだ力不足を感じます。最近各分野で長時間労働の問題が議論されていますが、医者は別扱いされています。さもありなんと思いつつも、今の若い先生たちがバランスを上手に取りながら成長していけるシステムができたらいいなと、アラフィフの中堅は思っています。当然、今の自分の生活も少し見直そうと思っています。まずはワークを減らすところから手をつけたいと思います。(西田)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

積読してあった「等伯」(阿部龍太郎 著)を一年寝かせて読みました。安土桃山時代の絵師・長谷川等伯の生涯を描いた時代小説です。長谷川派だけでなく狩野派の絵も沢山でてくるので、iPadなどでその絵を実際に見ながら物語を読み進めて行くと、更に楽しめます。小説の最後に出てくるのが日本水墨画の最高傑作とも言われる国宝・松林図屏風(東京国立博物館)。毎年お正月に特別公開されているのだそうです。是非、観てみようと思います。(沖田)

＊ ＊ ＊

先日、青島太平洋マラソンのエントリーがありました。インターネットによる先着順で、宮崎日日新聞によると今年は受付開始から締め切りまでわずか39分だったそうです。私は運悪く本誌校正委員会と重なってしまいエントリーを家族に託したのですが、帰宅すると何とか間に合って無事エントリーできたとのこと。ほっとしました。今年も12月に大きな目標ができました。(中村)

＊ ＊ ＊

今年で6年目の看護学校の授業が始まりました。平均年齢26歳、最高齢54歳！学生の3分の2は既卒者です。一回社会に出て、家庭をもってでも看護師を目指す決断。なかなかできるものではありません。だからこちらも授業に力が入り、人気予備校教師ぶりにテンション上げて面白おかしくやっています。そうしたら、初回の授業の後に、数人の女子生徒達から「先生の病院で働かせてください」って(笑)これでハローワークの求人がいらなくなるというのです。(野村)

＊ ＊ ＊

私の部屋は西日がよく差し込みます。すっかり夏になった今、部屋は蒸し風呂状態。毎日起きるのも眠るのも暑くてかきません。アトピー持ちのため、お風呂上りにクリームや軟膏を使うのですが、それがベタつくのと、そもそも寝る前に汗をかいてしまっていて逆に眠れない…。夏だけは北海道か北欧かどこかに移住したくなってしまうのですが、実際にはできないので、今年も命の扇風機を崇めつつ夏バテしないように乗り切りたいと思います。(馬場)

＊ ＊ ＊

先日福岡で開催されたeレジフェアに参加してきました。九州圏内の病院だけでなく関西や関東、さらには北海道といった日本各地の病院が出演していて、たくさんの病院の説明を聞くことができました。研修先は自分の中である程度ここかなというのはあったのですが、いろんな病院の説明を聞くとどの病院も違った魅力があり全ての病院に行ってみたくまりました。これからいろんな病院に見学に行き、自分に合った病院を探したいと思います。(二見)

＊ ＊ ＊

「刑事コロンボ」のビデオを観ていて、コロンボが病室でたばこをぷかぷかと吸っている場面があり驚きました。昔は病院でも堂々とたばこが吸えたのですね。そういえば、以前は飛行機にも喫煙席があったことを思い出しました。2020年のオリンピックに向けて禁煙対策が進められているところですが、WHOによると日本の受動喫煙対策は「世界最低レベル」だそうです。受動喫煙による健康被害を考えると、もはやマナーや嗜好の問題だけでは済まされません。(荒木)

＊ ＊ ＊

## 今月のトピックス

### 「はまゆう随筆」 その1

今年も沢山投稿していただき、ありがとうございました。7, 8月号と2回に分けて掲載させていただきます。今回も作者の個性や人生観がにじみ出た作品が集まっています。どうぞお楽しみください。

「院長が何を考えているかわかりません」…院内ネットワークではなく、ホームページ上でオープン化されることを期待します。

6 ページ

### お知らせ 第18回宮崎県医師会医家芸術展

8月9日(水)～13日(日)まで、恒例の医家芸術展が宮崎県立美術館で開催されます。近年は毎回1,000人を超える皆様にご来場いただき、好評を博しております。今年も写真・書道・絵画の秀逸な作品をご堪能ください。もちろん無料です。

22 ページ

### 診療メモ 胆膵疾患に対する超音波内視鏡診断・治療：現状と新展開

消化管の内腔から超音波検査を行う超音波内視鏡。体表からの検査に比べ、胆嚢・膵臓などに対し高分解能の超音波観察ができるだけでなく、消化管病変の進達度診断や病理検査のための超音波内視鏡ガイド下穿刺、さらに胆道や膵管に対するドレナージ術まで行えるようです。超音波内視鏡について河上洋教授に詳しく解説していただきました。

76 ページ

## 日 州 医 事 第815号(平成29年 7 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎  
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 馬場 萌子, 二見 旬祐  
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 柴野 雅資, 泉 摩依  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)